

LOGOSWARE 



操作マニュアル

16 製-ST010567-02

第 2 版 : 2017 年 9 月 27 日 製品バージョン : 2.1.0 以降

目次

第 1 章 はじめに 7

1-1. マニュアルについて 8

 1-1-1. 付属マニュアルの構成 8

 1-1-2. そのほかの情報 8

1-2. 推奨動作環境 9

 1-2-1. 制作環境 9

 1-2-2. 掲載サーバー環境 10

 1-2-3. 閲覧環境 10

1-3. 制限事項 12

 1-3-1. 重要なお知らせ 12

 1-3-2. 体験版の制限事項 12

 1-3-3. ご契約プランごとの制限事項 12

1-4. STORM V で作れるコンテンツ 13

 1-4-1. 基本的な 3 つの作成モード 13

 1-4-2. 応用コンテンツ 14

1-5. コンテンツのデザイン変更 14

第 2 章 スライドモード ～シンプルコンテンツ～ 15

2-1. スライドモードで作れるコンテンツ 16

 2-2. パソコン・タブレットでの表示 16

 2-3. スマートフォンの表示 18

2-2. PowerPoint 作成のポイント 19

2-3. スライドモードでコンテンツを作成 20

2-4. コンテンツをプレビューする 23

2-4-1. 初回プレビュー時の設定 24

第 3 章 簡単作成モード ～音声合成コンテンツ～25

3-1. 簡単作成モードで作れるコンテンツ 26

3-1-2. PC・タブレットでの表示 26

t 3-1-3. スマートフォンでの表示 27

3-2. PowerPoint ファイル作成のポイント 28

3-2-1. アニメーション設定 28

3-2-2. NOTE（ノート）／音声合成になる内容の設定 29

3-2-3. INDEX（インデックス）になる内容の設定 30

3-3. 簡単作成モードでコンテンツを作成 31

3-4. 簡単作成モード特有の記号 34

3-4-1. 音声合成とアニメーションを自動で同期する（★） 34

3-4-2. NOTE 表示と音声合成の原稿を別にする（/div/） 35

3-4-3. 指定した箇所に無音時間を入れる（▲、■） 36

第 4 章 通常作成モード ～ビデオ・別撮り音声コンテンツ～ 37

4-1. 通常作成モードで作れるコンテンツ 38

4-1-1. 動画とスライドのコンテンツ 38

4-2. 素材を準備しよう（素材規約） 42

4-2-1. スライドエリアに表示される素材（PPT） 42

4-2-2. 動画エリアに表示される素材（MP4（M4V）,AVI,WMV,FLV） 44

4-2-3. 音声素材（MP3） 45

4-2-4. 変換せずに取り込むことができる動画（MP4）の条件 45

4-2-5. メニューエリアに表示される素材（CSV） 48

4-2-7. ロゴ画像エリアに表示される素材（JPG、GIF、PNG） 48

4-2-6. テロップエリアに表示させる素材（CSV） 49

4-3.	通常作成モードでコンテンツを作成	50
4-3-1.	ベースコンテンツを作る	50
4-3-2.	素材を STORM V に取り込む	52
4-3-3.	素材をコンテンツ編集画面に配置する	57
4-3-4.	キューポイントを設定する	59
4-3-5.	コンテンツをプレビューする	67
第 5 章	コンテンツを公開する	68
5-1.	コンテンツ公開の概要	69
5-2.	Web サーバー/LMS で公開する	71
5-2-1.	コンテンツを書き出す	71
5-2-2.	コンテンツを公開する	74
5-4.	Libra V で公開する	76
付録 A (応用設定)		77
A1.	コンテンツを CD/DVD で配布する	78
A1-1.	オフライン閲覧キットを使用する方法	78
A2.	スコアを利用する (簡易履歴蓄積機能)	79
A2-1.	スコアとは?	79
A3.	コンテンツを連結する	80
A3-1.	コンテンツの連結とは	80
A3-2.	リンク先コンテンツへの引き渡し機能	80
A3-3.	連結されたコンテンツを作成する	80
A4.	画面のレイアウトを変更する	81
A5.	コンテンツ管理名を変更する	83
A6.	コンテンツ公開時のタイトルを変更する	84
付録 B (編集)		85

B1.	コンテンツの設定変更.....	86
B1-1.	メニュー・ノートの初期表示の設定.....	87
B1-2.	コンテンツ再生の設定.....	87
B1-3.	デザインの設定：スキンの変更.....	89
B1-4.	デザインの設定：簡易カスタマイズ.....	90
B1-5.	デザインの設定：高度カスタマイズ.....	92
B1-6.	コンテンツの種類の変更.....	92
B1-7.	コンテンツ設定のテンプレート（保存・適応）.....	93
B2.	コンテンツ書き出しの初期値設定.....	95
B3.	コンテンツ一覧の操作.....	96
B3-1.	フォルダーの新規追加.....	96
B3-2.	フォルダーの削除.....	96
B3-4.	コンテンツの管理.....	98
B4.	音声合成ツールの使い方.....	99
B4-1.	音声合成ツールとは？.....	99
B4-2.	音声合成ツールの使い方.....	99
B5.	音声合成の単語登録.....	102
B5-1.	音声合成の単語登録とは？.....	102
B5-2.	新規の単語登録のやり方.....	102
B5-3.	登録済みの単語の削除.....	106
B6.	ビュー画面でのキューポイント設定（イベントレコーディング方式）.....	107
B6-1.	ビュー画面でのキューポイント設定とは？.....	107
B6-2.	スライドの操作方法（スライドタイプの場合）.....	108

付録 C（環境設定） 110

C1.	スライドの透かし字「Evaluation Use Only」を消したい.....	111
C2.	コンテンツをインポートする.....	112
C3.	STORM V の再セットアップ.....	113
C3-1.	STORM V をアンインストールする.....	113

C4. 自 PC 内のコンテンツを閲覧する方法（ローカル環境で再生する） 114

付録 D（仕様） 115

D1. LMS 利用時の注意点 116

D2. PowerPoint のアニメーション効果の変換 119

お問い合わせ 121

 お問い合わせの前に 121

 お問い合わせ窓口 121

更新履歴 122

本書では（ ）のように略名で説明します。

- LOGOSWARE STORM V (STORM V)
プレゼン型コンテンツ作成ソフト
- LOGOSWARE FLIPPER U (FLIPPER U)
デジタルブック作成ソフト
- LOGOSWARE THiNQ Maker (THiNQ Maker)
クイズ作成ソフト
- LOGOSWARE オンラインストレージ (オンラインストレージ)
公開用 Web サーバー
- LOGOSWARE Libra V (Libra V)
本棚型ライブラリシステム
- LOGOSWARE Platon (Platon)
学習管理システム

第 1 章 はじめに

1-1. マニュアルについて

1-1-1. 付属マニュアルの構成

プレゼン教材作成ソフト STORM V のマニュアルは、以下の内容で構成されています。

- STORM V セットアップガイド
インストール、ライセンス認証など、ご使用になる前の各種設定を説明します。
<https://doclib.logosware.com/content.html#!/785>
- STORM V 操作マニュアル 【本書】
基本的な使い方を学んでいただくための構成になっています。
- STORM V 簡単チュートリアル
短時間で STORM V の大まかな操作を体験するためのチュートリアルです。
<https://doclib.logosware.com/#/content/799>

1-1-2. そのほかの情報

- FAQ
トラブル情報やよくあるご質問をまとめています。
<http://learning.logosware.com/faq>
- お客さまサポートサイト
無料オンラインセミナー、無料eラーニング、技術情報などを公開しています。ロゴスウェア製品ご契約の皆様のためのポータルサイトです。
<http://learning.logosware.com/>

1-2. 推奨動作環境

1-2-1. 制作環境

OS	Windows®10 Windows® 8 、 8.1 Windows® 7
メモリ	2GB 以上 (4GB 以上推奨)
モニタ	解像度 1280×1024、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● Office 365 (32bit 版) ※ PowerPoint2016、PowerPoint®2013、PowerPoint®2010、 ※Office365 は PC にインストールしてご利用ください。オンライン版の Office365 には対応していません。 ● Internet Explorer® 10 以上 ● Flash Player®12 以上 (Internet Explorer:ActiveX 版) Internet Explorer にインストールしてください。また、「ActiveX コントロールとプラグインの実行」を有効にしてください。 ● .NET Framework 4.5.2 以降 ● Microsoft Visual C++ Runtime 2013 ※インストールされていない場合、STORM V のインストール時に自動的にインストールされます。 ● WindowsMediaPlayer11 以降
環境	<ul style="list-style-type: none"> ● インストールには、Windows の管理者権限が必要です。通常のコンテンツ作成には、管理者権限は不要です。 ✓ Macintosh にインストールされた Windows 上は、推奨環境外となります。

1-2-2. 掲載サーバー環境

一般的な Web サーバーに掲載いただけます（特殊な設定や機器などは不要です）。

学習管理システム(LMS)に掲載する場合は、SCORM1.2 または 2004 に対応した LMS に掲載いただけます。

1-2-3. 閲覧環境

1-2-3-1. パソコン

	Windows®	Mac®
OS	Windows®10 Windows®8 / 8.1 Windows®7	Mac OS® X 10.8 以上
モニタ	解像度 1024×768、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ	
ブラウザ	Internet Explorer® 10 以上 Edge 最新版 Firefox® (最新版) Chrome (最新版)	Safari (最新版) Firefox® (最新版) Chrome (最新版)
環境	インターネット接続環境（回線速度：ブロードバンド以上）	

1-2-3-1. スマートフォン/タブレット

対応機種	✓ 標準ブラウザでの閲覧を前提とします。 iPhone: iOS9 以上 ※1 iPad : iOS9 以上 ※1 Android : 4.4 以上
------	---

- ✓ Android の詳細は Android 対応機種リストをご覧ください。
<http://suite.logosware.com/wp-content/uploads/11-ST030206.pdf>
- ✓ ※1 動画が組み込まれたコンテンツの再生には、iOS10 以上が必要です。

1-3. 制限事項

1-3-1. 重要なお知らせ

STORM V をご契約、ご利用いただくにあたって、事前に確認していただきたい事柄があります。以下を参照してください。

<https://download.logosware.com/soft/notice/st/09-ST030040-12.pdf>

1-3-2. 体験版の制限事項

体験版では一部の機能が制限されます。以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/213/>

- ✓ 音声合成機能を正式版として利用するには、STORM V の本体のほかに、「音声合成オプション」のご契約が必要です。、、、
- ✓ PowerPoint を変換したスライドに透かし字「Evaluation Use Only」が入ります。
- ✓ 体験版のご利用期間は、ライセンス認証から 1 ヶ月です。
- ✓ スコア機能はご利用になれません。スコア機能については、以下のサイトをご参照下さい。
<https://suite.logosware.com/option-solution/score/demo/>
- ✓ 体験版で利用できる機能は、エキスパート相当となります。

1-3-3. ご契約プランごとの制限事項

ご契約のグレード（バリュー／レギュラー／エキスパート）によって、利用できる機能に制限があります。以下のサイトを参照するか、詳しくは営業担当（sales@logosware.com）までお問い合わせ下さい。

<https://suite.logosware.com/storm-maker/storm-v/>

1-4. STORM V で作れるコンテンツ

1-4-1. 基本的な 3 つの作成モード

STORM V は、HTML5 形式のコンテンツが作成できます。コンテンツの作成モードは、3 種類あり、それぞれ、以下のような特長があります。

スライドモード	<ul style="list-style-type: none"> ● スライドだけのシンプルなコンテンツを作れます。 ● とにかく短時間でコンテンツ化したいという場合や、スライドだけ見せられればよいという場合に適しています ● 作り方を「第 2 章」で説明します。 ✓ スライドモードは、バリュー版ではご利用いただけません。
簡単作成モード	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声合成したナレーション付きのコンテンツを簡単に作れます。 ● ナレーターがない場合やスタジオ録音コストを削減したい場合に適しています。 ● 作り方を「第 3 章」で説明します。
通常作成モード	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオや、スタジオで録音した音声を組み合わせるのに適したモードです。簡単作成モードやスライドモードで作成したコンテンツは、通常作成モードで修正することができます。 ● 作り方を「第 4 章」で説明します。

1-4-2. 応用コンテンツ

LMS（学習管理システム用）コンテンツ

eラーニングの規格 SCORM1.2、SCORM2004 に対応した形式で書き出すことができます。コンテンツの作成方法は通常のコンテンツと同様で「書き出し」方法だけが異なります。

- ✓ LMS で利用する方向けの情報は、本書付録 D1 「LMS 利用時の注意点のまとめ」を参照してください。

そのほかの応用コンテンツ

必要に合わせて応用コンテンツを作成できます。

基本的な操作を一通り確認したあとに「[付録 A（応用設定）](#)」を参照してください。

- 簡易パスワード付コンテンツの作成（「[第 5 章 コンテンツを公開する](#)」参照）
- [A1. コンテンツを CD/DVD で配布する](#)
- [A2. スコアを利用する（簡易履歴蓄積機能）](#)

1-5. コンテンツのデザイン変更

通常作成モードの【コンテンツの設定】の機能を利用することで、コンテンツの細かな動作やデザインを変更できます。また、設定内容をテンプレートとして保存し、設定情報を再利用できます。

詳しくは、付録「[B1. コンテンツの設定変更](#)」を参照してください。

第2章 スライドモード ～シンプルコンテンツ～

スライドモードでは、シンプルなコンテンツをすばやく作成できます。本章では、スライドモードの作成方法について紹介します。

- ✓ スライドモードは、バリュー版ではご利用いただけません。

2-1. スライドモードで作れるコンテンツ

2-2. パソコン・タブレットでの表示

メニューなし



メニューあり



①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示する。
② ③	スライドめくりエリア スライドめくりボタン	前（または次）のスライドを表示します。アニメーションが設定されている場合は次のアニメーションを表示します。
④	スライド番号／全スライド数	閲覧中のスライド番号と、スライド総数を表示します。 ✓ HTML5 コンテンツは、スライド番号の入力はできません。
⑤	メニューエリア	<ul style="list-style-type: none"> ● INDEX（インデックス）：メニュー項目を表示する ● NOTE（ノート）：文章を表示する
⑥	Layout ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● Layout ボタン：画面レイアウトの変更が可能です。
⑦	ロゴ画像	通常作成モードで追加したロゴ画像を表示する

2-3. スマートフォンの表示

メニューあり



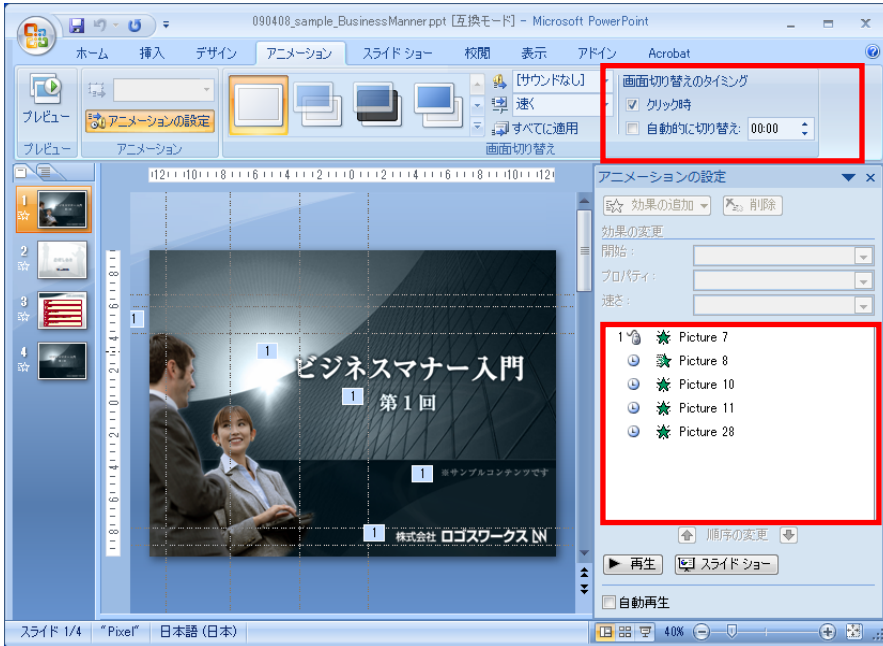
メニューなし



①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示します。
②	スライドめくりボタン	左矢印をクリックすると前のスライドへ移動します。 右矢印をクリックすると次のスライドへ移動します。
③	メニューエリア	<ul style="list-style-type: none"> ● INDEX (インデックス) : メニュー項目を表示する ● NOTE (ノート) : 文章を表示する
④	スライド番号 / 全スライド数	閲覧中のスライド番号と、スライド総数を表示します。 ✓ HTML5 コンテンツは、スライド番号の入力はできません。

2-2. PowerPoint 作成のポイント

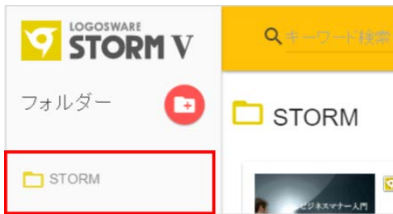
- ✓ アニメーションごとに停止するスライドコンテンツを作成するには、PowerPoint でアニメーションの設定をする必要があります。



- ✓ STORM V でクリック制御できるアニメーションは「クリック時(マウスのマーク)」のみです。「直前の動作と同時」「直前の動作の直後」に設定すると、自動的に再生されます。
- ✓ 画面切り替えのタイミング>自動的に切り替えにチェックは付けないでください。STORM V 側で制御できません。
- ✓ 詳しくは、PowerPoint のスライド作成時のポイントを参照して下さい。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/599/>
- ✓ 体験版の利用時は、スライド部分に透かし字「Evaluation Use Only」が表示されます。

2-3. スライドモードでコンテンツを作成

1. コンテンツを保存するフォルダを選択します。



- ✓ STORM V のインストール後の初期状態には、「STORM」というフォルダが作成されています。
- ✓ オリジナルのフォルダを作る場合は、【フォルダ】からフォルダを作成します。フォルダ管理の詳細は、付録「[B3. コンテンツ一覧の操作](#)」を参照してください。

2. 【新規作成】を選択し【スライドモード】をクリックします。

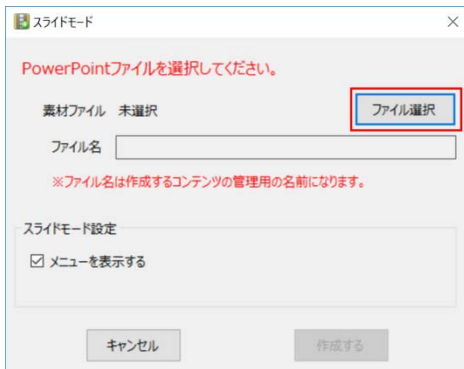


3. 【ファイル選択】をクリックし、使用する PowerPoint を選択します。

また、そのほかの設定を必要に応じて変更します。

- ✓ コンテンツ名に記号等の文字が含まれる場合、コンテンツの書き出しに失敗する場合がありますので、使用しないでください。
- ✓ 体験版の利用時は、スライド部分に透かし字「Evaluation Use Only」が表示されます。

- ✓ PowerPoint に設定されたアニメーションは、「開始」「終了」のみ再現されます。詳細は、付録「[D2. アニメーション効果の変換結果 確認](#)」を参照して下さい。



ファイル名	コンテンツのタイトルを指定します。自動的にPowerPoint のファイル名が指定されるので、必要に応じて変更します。
メニューの表示	メニューの有り無しを選択します。

4. 【作成する】をクリックし、しばらく待つとコンテンツが作成されます。

コンテンツのプレビュー方法は、「[2-4. コンテンツをプレビューする](#)」を参照して下さい。

ワンポイント

スライドモードで作成したコンテンツでも閲覧していないスライド（メニュー）に移動させなくすることが行えます。

設定したコンテンツは、閲覧済みでないメニューへの移動が行えません。

【設定方法】

1. コンテンツの一覧より設定したいコンテンツを選択し、【編集】ボタンをクリックします。
2. コンテンツ編集の画面内にある【コンテンツの設定】ボタンをクリックします。
3. スキップ再生を不許可にし、【OK】ボタンをクリックします。
4. 【保存】ボタンをクリックします。



2-4. コンテンツをプレビューする

作成したコンテンツは【プレビュー】ボタンより確認することが可能です。

1. 【プレビュー】ボタンをクリックします。
2. プレビュー選択画面より確認したいコンテンツタイプを選択します。
しばらく待つと選択したコンテンツタイプのコンテンツが Internet Explorer で表示されます。Internet Explorer が無効化されていた場合、標準ブラウザで表示します。



- ✓ コンテンツを公開するには？
「[第5章 コンテンツを公開する](#)」を参照してください。
- ✓ プレビューできないときは？
 - 【編集】をクリックし、ビュー画面で【再生】すると確認できます。

2-4-1. 初回プレビュー時の設定

STORM V のインストール後、初めてのプレビュー時にブラウザに「イントラネット設定は既定でオフになりました」というメッセージが表示される場合があります。

表示された場合は、「今後、このメッセージを表示しない」を選択してください。



ワンポイント

「今後、このメッセージを表示しない」が表示される理由

■理由

該当のメッセージは、STORM V がプレビュー用にローカルで起動している Web サーバーにアクセスしたことにより表示されたメッセージです。

ご利用中の PC が接続されているネットワークのサーバーや、他のイントラネット環境にアクセスしているわけではありませんのでご安心ください。

■補足

該当のメッセージが表示されるのは、お使いの Internet Explorer がイントラネットへのアクセスに「イントラネットゾーン」よりもセキュリティが高い「インターネットゾーン」のセキュリティ設定を使用していることを意味しています。

第 3 章 簡単作成モード ～音声合成コンテンツ～

簡単作成モードはスライドと音声合成のコンテンツを作るのに向いています。また、自動で先に進む無音のコンテンツも作れます。

第 3 章では、簡単作成モードの操作方法を説明します。

3-1. 簡単作成モードで作れるコンテンツ

3-1-2. PC・タブレットでの表示



- ✓ 縦置きの場合はメニュー、Layoutが表示されません。
- ✓ PCでは縦向き表示はありません。

①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示します。
②	メインエリア	スライドが表示されます。
③	コントローラー	閲覧者が操作できるコントローラーです。 <ul style="list-style-type: none"> ● スライダー：任意の個所に移動 ● 戻る／進む：前メニューまたは次メニューに移動 ● 一時停止／再生：一時停止と再生を切り替える ● 倍速再生：再生速度を 0.5 倍～2 倍に調整 ● Layout：画面のレイアウトを変更
④	メニューエリア	<ul style="list-style-type: none"> ● INDEX（インデックス）：メニュー項目を表示する ● NOTE（ノート）：文章を表示する
⑤	テロップエリア	通常作成モードで追加したテロップを表示する
⑥	ロゴ画像エリア	通常作成モードで追加したロゴ画像を表示する

t 3-1-3. スマートフォンでの表示



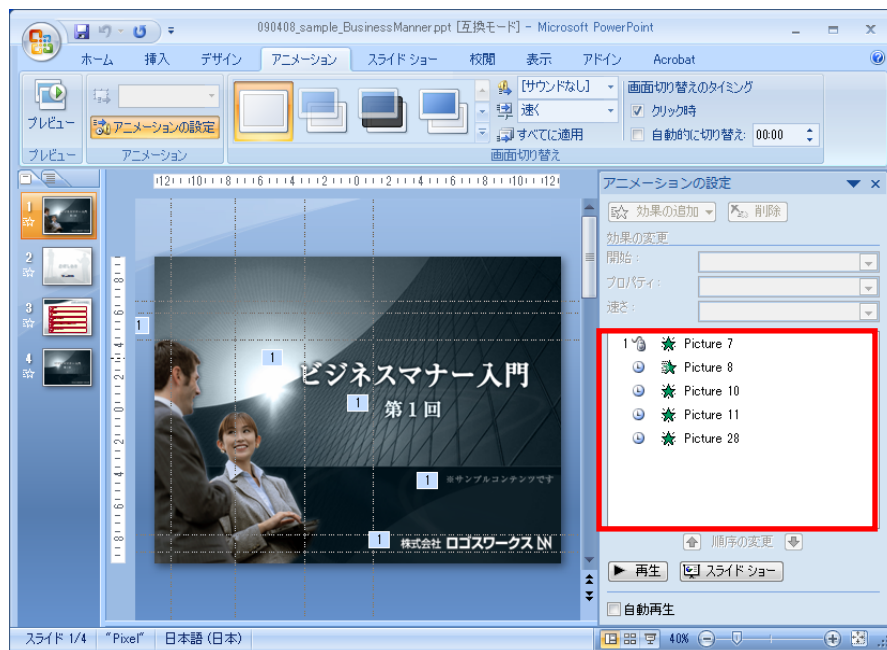
✓ 横置きの場合、画面をタップするとコントローラーが表示されます。

①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示します。
②	メインエリア	スライドが表示されます。
③	コントローラー	<p>閲覧者が操作できるコントローラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スライダー：任意の箇所に移動 ● INDEX：INDEX（インデックス）、NOTE（ノート）を表示します。 ● 戻る／進む：前メニューまたは次メニューに移動 ● 一時停止／再生：一時停止と再生を切り替える ● 倍速再生：再生速度を 0.5 倍～2 倍に調整
④	テロップエリア	<p>通常作成モードで追加したテロップを表示する</p> <p>✓ 横表示ではテロップは表示されません。</p>
⑤	画像エリア	通常作成モードで追加したロゴ画像を表示する

3-2. PowerPoint ファイル作成のポイント

3-2-1. アニメーション設定

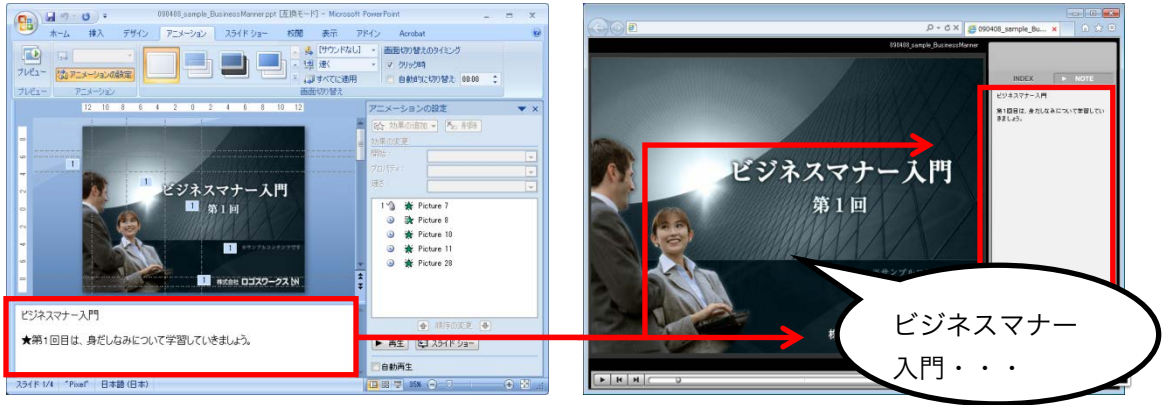
アニメーションごとに停止するスライドコンテンツを作成するには、PowerPoint でアニメーションの設定をする必要があります。



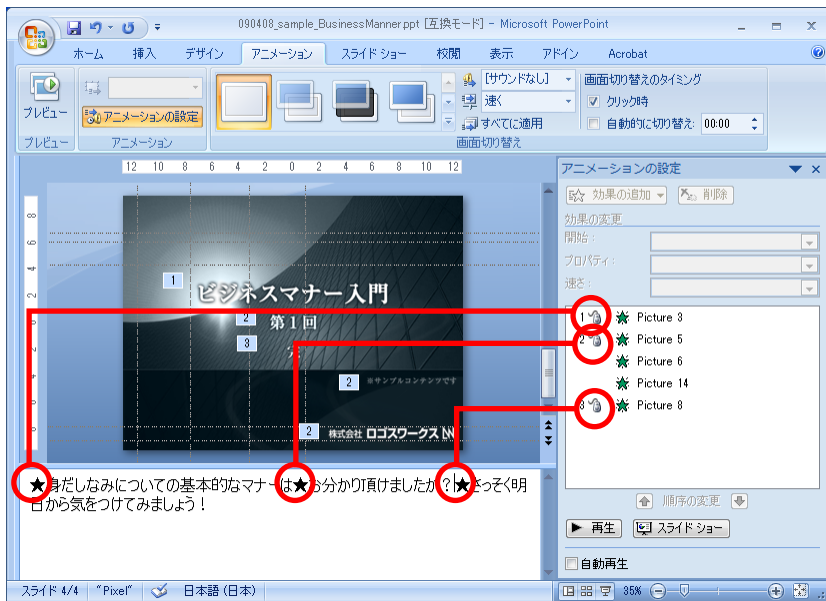
- ✓ STORM V でクリック制御できるアニメーションは「クリック時(マウスのマーク)」のみです。「直前の動作と同時」「直前の動作の直後」に設定すると、自動的に再生されます。
- ✓ 画面切り替えのタイミング>自動的に切り替えにチェックは付けないでください。STORM V 側で制御できません。
- ✓ 詳しくは、PowerPoint のスライド作成時のポイントを参照して下さい。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/599/>
- ✓ 体験版の利用時は、スライド部分に透かし字「Evaluation Use Only」が表示されます。

3-2-2. NOTE（ノート） / 音声合成になる内容の設定

PowerPoint のノートに記載した文章は、STORM コンテンツの「NOTE（ノート）」の項目や、「音声合成のナレーション」として利用されます。



- ✓ アニメーションタイミング文字「★」を入れておくと、音声合成のタイミングとアニメーションのタイミングを同期させることができます（読み上げが★印に達すると、アニメーションが表示されます）。詳細は「[3-4-1. 音声合成とアニメーションを自動で同期する（★）](#)」を参照してください。

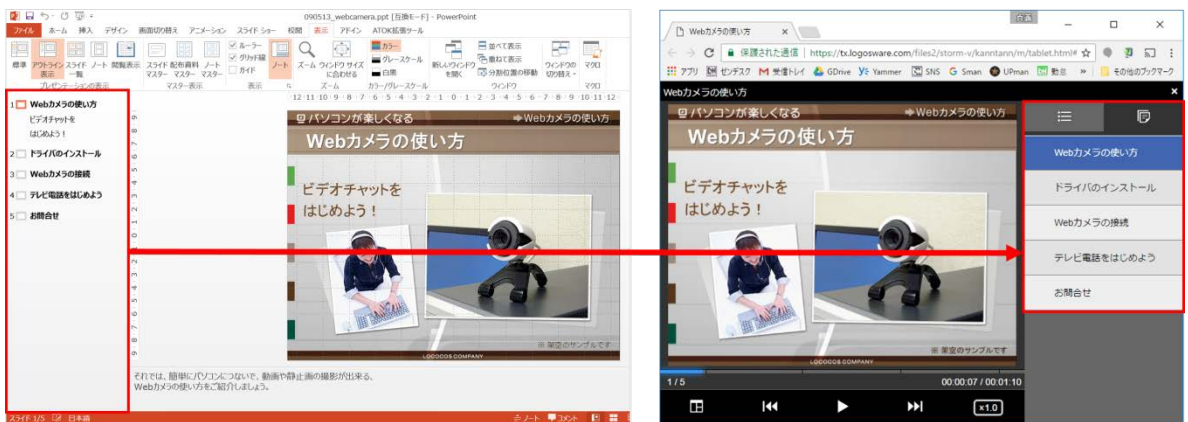


- ✓ そのほかにも便利な機能があります。「[3-4-2. NOTE 表示と音声合成の原稿を別にする \(/div/\)](#)」「[3-4-3. 指定した箇所に無音時間を入れる（▲、■）](#)」を参照してください。

- ✓ 音声合成機能を制限なく利用するには、音声合成オプション（有償）が必要です。ご契約でない場合、頭に「サンプルです」と入り、1 スライドあたり約 60 字合成できます。

3-2-3. INDEX（インデックス）になる内容の設定

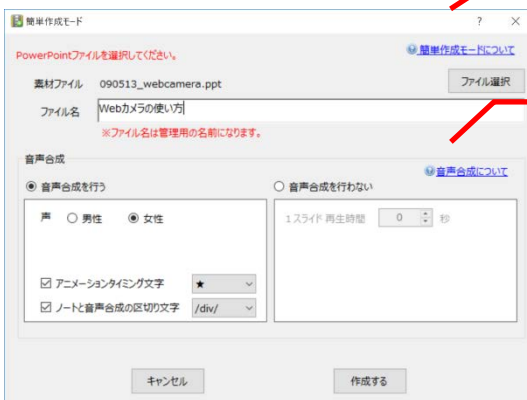
PowerPoint の「タイトルオブジェクト」は、STORM コンテンツの INDEX 項目になります。タイトルオブジェクトとは、PowerPoint のアウトライン表示に太字で表示される部分です。



- ✓ あとで変更もできますが、事前に設定すると変換後の処理が簡単です。
- ✓ タイトルオブジェクトがどれかわからない場合は、アウトラインエリアで文章を入力すると、タイトルオブジェクトがスライドエリアに表示されます。

3-3. 簡単作成モードでコンテンツを作成

1. コンテンツを保存するフォルダを選択します。
 - ✓ STORM V のインストール後の初期状態には、“STORM”というフォルダが作成されています。
 - ✓ オリジナルのフォルダを作る場合は、【フォルダ】からフォルダを作成します。フォルダ管理の詳細は、付録「[B3. コンテンツ一覧の操作](#)」を参照してください。
2. 【新規作成】を選択し【簡単作成モード】をクリックします。
3. 【PPT ファイル選択】をクリックし、使用する PowerPoint を選択します。



簡単作成モードのヘルプを表示します。

チェックをつけた際に赤字で「体験版」が表示される場合、音声合成の機能が制限されます。

また、そのほかの設定を必要に応じて指定します。

ファイル選択	PowerPoint を選択します。
ファイル選択	<p>コンテンツのタイトルを指定します。自動的に PowerPoint のファイル名が指定されるので、必要に応じて変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ファイル名に記号等の文字が含まれる場合、コンテンツの書き出しに失敗する場合がありますので、使用しないでください。

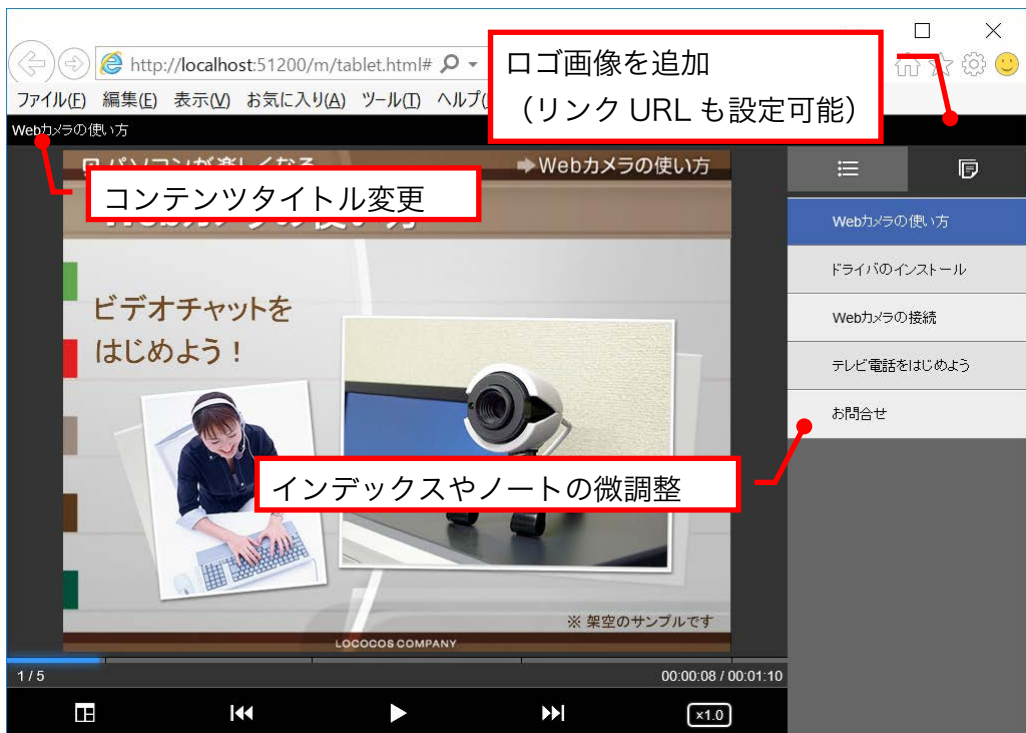
音声合成	<p>「音声合成を行う」の選択時に音声合成を行います。</p> <p>「音声合成を行わない」の選択時は、音声合成しません。</p> <p>1 スライドあたりの再生時間を指定し、自動で先に進む無音のコンテンツを作成できます。</p> <p>✓ 有償オプション「音声合成」をご契約でない場合、頭に「サンプルです」と入り、1スライドあたり約60字合成できます。</p>
アニメーション タイミング文字	<p>PowerPointのノート部分で指定した、記号を選択します。</p> <p>機能の詳細は「3-4-1. 音声合成とアニメーションを自動で同期する(★)」を参照してください。</p>
ノートと音声合成の区切り文字	<p>PowerPointのノート部分で指定した、記号を選択します。</p> <p>機能の詳細は「3-4-2. NOTE 表示と音声合成の原稿を別にする(/div/)」を参照してください。</p>

✓ 音声合成の単語登録は、「[B5. 音声合成の単語登録](#)」を参照して下さい。

4. 【作成する】をクリックししばらく待つとコンテンツが作成されます。【プレビュー】をクリックし、閲覧してみましょう。



- ✓ コンテンツを公開するには？
「[第5章 コンテンツを公開する](#)」を参照してください。
- ✓ プレビューできないときは？
 - 左隣の【編集】をクリックし、ビュー画面で【再生】すると確認できます。
- ✓ 通常作成モードで微調整できます。
通常作成モードを使うと、コンテンツをさらにレベルアップできます。操作方法は、「[第4章 通常作成モード](#)」を参照してください。

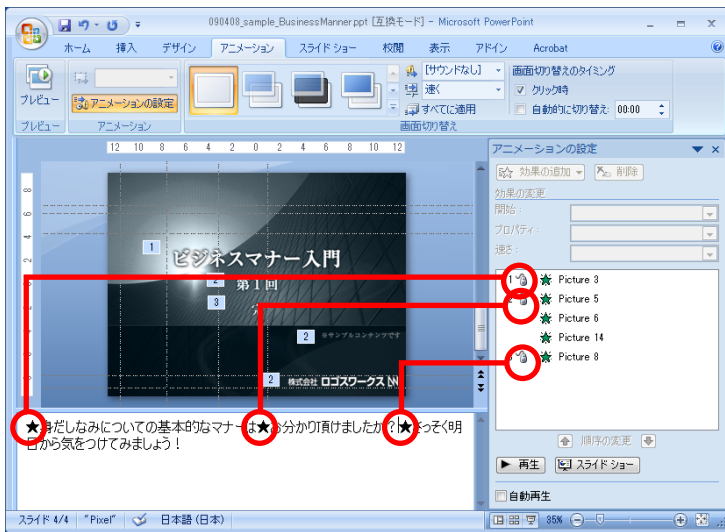


- 音声合成の速度を変更できます。「[第4章 通常作成モード](#)」とあわせて、「B5. 音声合成ツールの使い方」も参照してください。
- 「コンテンツの設定」で、スキップ再生、メニュー毎に一時停止を設定できます。「[B1-2. コンテンツ再生の設定](#)」を参照してください。

3-4. 簡単作成モード特有の記号

3-4-1. 音声合成とアニメーションを自動で同期する (★)

「アニメーションタイミング文字 (★)」を利用すると、音声合成のタイミングとアニメーションのタイミングを自動的にあわせることができます（読み上げが★印に達すると、アニメーションが表示されます）。



- ✓ アニメーションタイミング文字は、「★」以外にも「●」「//」「##」「/#/」を利用できます。簡単作成モード実行時に指定してください。
- ✓ アニメーションタイミング文字の前が「,」「。」「! (半角)」「? (半角)」以外の場合、アニメーションの再生タイミングが少しずれる恐れがあります。
 悪い例：1つ目の★アニメーションが表示されず。
 良い例：1つ目のアニメーションが表示されず。★
- ✓ 1スライドに対して、アニメーションタイミング文字の数が10個以上になるとずれやすくなります。以下のいずれかの方法でPowerPoint原稿を調整してください。
 - (1) 「, ★」「。★」「!★」「?★」のように★を配置する
 - (2) アニメーションタイミング文字(★)の数を減らす
 - (3) 簡単作成モードで作成後、通常作成モードの編集画面でずれを調整する

- ✓ PowerPoint でアニメーションを設定したが、アニメーションタイミング文字を指定しない場合、均等にアニメーションが表示されます。
- ✓ アニメーションの個数と、アニメーションタイミング文字の個数は一致させてください。一致していない場合は、下記のように処理されますが、意図した動作にならない場合があります。

アニメーションの個数 > ★の個数 の場合：

スライド内の残り再生時間を、残アニメーションで割った時間で切り替わります。

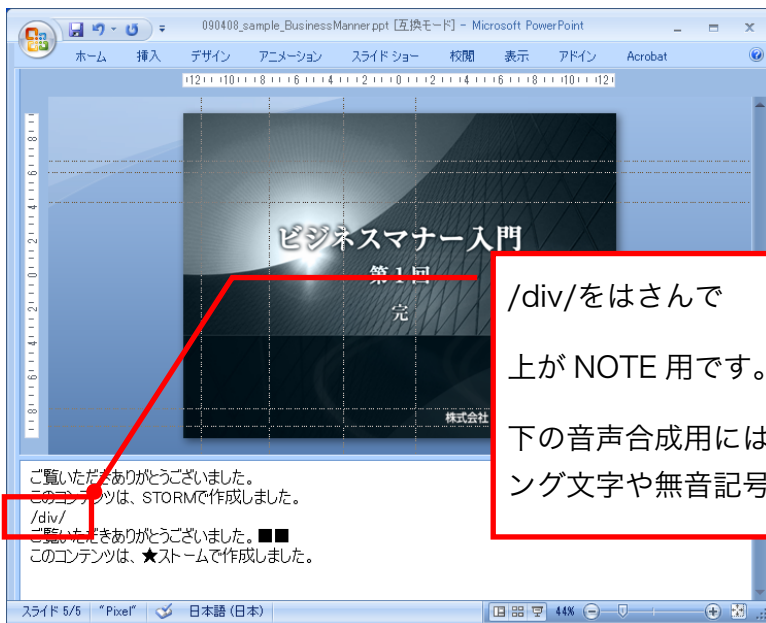
アニメーションの個数 < ★の個数 の場合：

多い分の★は、無視されます。

3-4-2. NOTE 表示と音声合成の原稿を別にする (/div/)

「ノートと音声合成の区切り文字 (/div/)」を利用すると、NOTE と音声合成の文章を分けて指定することができます。

文章中に、音声合成が読み間違えてしまうような難しい単語がある場合に便利です。例えば、NOTE 用には閲覧者に提示したい「STORM」と指定し、音声合成用には正しく読める「ストーム」と指定できます。

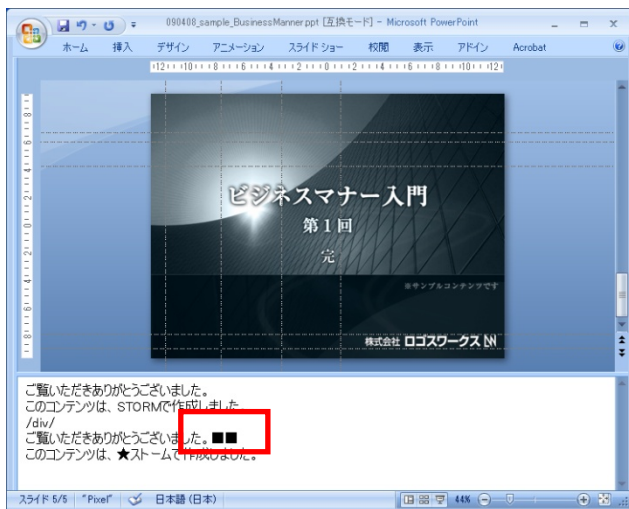


- ✓ ノートと音声合成の区切り文字は、「/div/」以外にも「/display/」「#div#」「----」を利用できます。簡単作成モード実行時に指定してください。
- ✓ ノートと音声合成の区切り文字は、必要な PowerPoint スライドだけに指定してください。必ずしも、全ての PowerPoint に設定する必要はありません。

3-4-3. 指定した箇所に無音時間を入れる (▲、■)

指定した箇所に無音時間を入れ、音声合成にメリハリをつけることができます。下記記号を PowerPoint の原稿で指定します。

無音記号	無音時間
▲	約 0.1 秒
■	約 1 秒



- ✓ 無音記号は、STORM コンテンツの NOTE に反映されます。反映させたくない場合は「[3-4-2. NOTE 表示と音声合成の原稿を別にする \(/div/\)](#)」を参照してください。
- ✓ 無音記号は連続 30 秒まで指定できます。連続して 30 秒以上指定した場合、超過分は無視されます。「■ ■ (略) ■ ■。 ■ ■ (略)」のように、「。」を入れ、連続しないようにしてください。

第4章 通常作成モード ～ビデオ・別撮り音声コンテンツ～

通常作成モードは、空っぽのコンテンツに一つずつ素材を取り込み、組み合わせていく方式です。ビデオや、別撮り音声コンテンツを組み合わせたコンテンツを作成できます。

また、簡単作成モードで作ったコンテンツにロゴやテロップを足したり、アニメーションのタイミングを微調整したりできます。

本章では、通常作成モードの操作方法を説明します。

4-1. 通常作成モードで作れるコンテンツ

4-1-1. 動画とスライドのコンテンツ

PowerPoint のスライドと、ビデオや音声を組み合わせるコンテンツです。

4-1-1-1. パソコン、タブレットでの表示



- ✓ 上記は標準的なレイアウトです。通常作成モードでは、コンテンツの用途に合わせて、さまざまな表示が可能です。
- ✓ 縦表示は、タブレットの表示方法です。Layoutが表示されません。

・メニューなしの表示



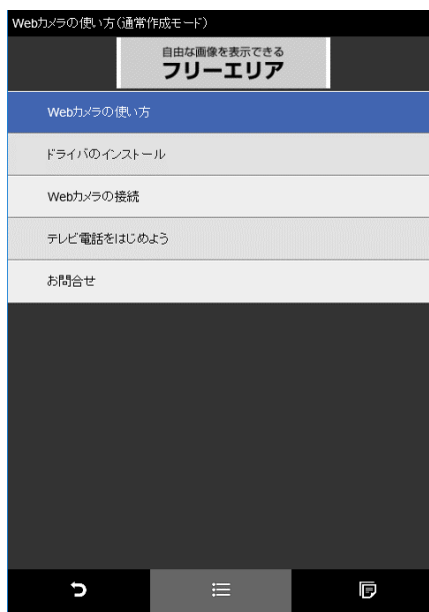
・ビデオメインの表示



①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示します。
②	メインエリア	スライドを表示します。
③	コントローラー	<p>閲覧者が操作できるコントローラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一時停止／再生：一時停止と再生を切り替える ● 戻る／進む：前メニューまたは次メニューに移動 ● スライダー：任意の箇所に移動 ● レイアウト切り替え (Layout)：レイアウトを切り替える ● 倍速再生：再生速度を 0.5 倍～2 倍に調整
④	動画	ビデオを表示します。パソコンコンテンツでは、ビデオ下部に説明文を追加できます。
⑤	ロゴ	ロゴ画像を指定できます。画像をクリックすると開く URL を追加できます。
⑥	メニューエリア	<ul style="list-style-type: none"> ● INDEX (インデックス)：メニュー項目を表示する ● NOTE (ノート)：文章を表示する
⑦	テロップエリア	テロップを表示します。

表示の切り替え方法については、「[4-3-4-1. キューポイント設定手順](#) > [レイアウトキューポイントの設定](#) 手順」を参照してください。

4-1-1-2. スマートフォンでの表示



▼コントロールパネル表示 (コンテンツ一時停止)



横置きの場合、画面をタップするとコントローラーが表示されます。

▼横表示での再生時



①	コンテンツタイトル	コンテンツタイトルを表示します。
②	メインエリア	スライドを表示します。
③	コントローラー	<p>閲覧者が操作できるコントローラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スライダー：任意の箇所に移動 ● INDEX：INDEX（インデックス）、NOTE（ノート）を表示します。INDEX のロゴ画像は URL が設定されている場合、クリックすると URL を開きます。 ● 戻る／進む：前メニューまたは次メニューに移動 ● 一時停止／再生：一時停止と再生を切り替える ● 倍速再生：再生速度を 0.5 倍～2 倍に調整
④	動画、ロゴ	<p>動画が表示されます。</p> <p>ロゴが設定されていた場合、ロゴも表示します。</p>
⑤	テロップエリア	テロップを表示します。

4-2. 素材を準備しよう（素材規約）

以下の素材は、全てそろえる必要はありません。必要なものを準備してください。

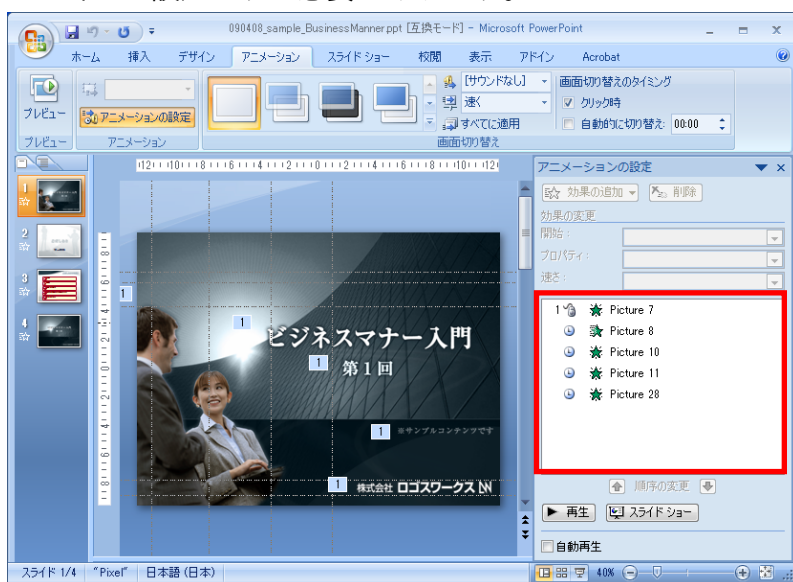
- ✓ 動画（MP4（M4V）,AVI,WMV,FLV）、音声（MP3）、画像（JPG、PNG、GIF）、メニュー（CSV）のファイル名に2バイト文字（全角文字）は、使用しないでください。サーバー公開時に正しくコンテンツが表示されません。

4-2-1. スライドエリアに表示される素材（PPT）

4-2-1-1.PowerPoint（スライドタイプコンテンツの場合）

(1) アニメーション設定

アニメーションごとに停止するコンテンツを作成するには、PowerPointでアニメーションの設定をする必要があります。



- ✓ STORM Vでクリック制御できるアニメーションは「クリック時(マウスのマーク)」のみです。「直前の動作と同時」「直前の動作の直後」に設定すると、自動的に再生されます。

- ✓ 画面切り替えのタイミング>自動的に切り替えにチェックは付けないでください。STORM V 側で制御できません。
- ✓ 詳しくは、PowerPoint のスライド作成時のポイントを参照して下さい。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/599/>
- ✓ 体験版の利用時は、スライド部分に透かし字「Evaluation Use Only」が表示されます。

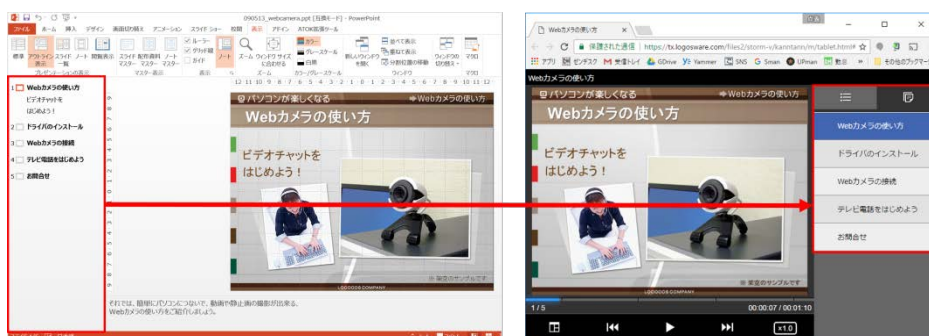
(2) NOTE（ノート）になる内容の設定

PowerPoint のノート部分に書いた内容が STORM コンテンツのノートになります。

- ✓ あとで変更もできますが、事前に設定すると変換後の処理が簡単です。

(3) INDEX（インデックス）項目になる内容の設定

PowerPoint の「タイトルオブジェクト」は、STORM コンテンツのインデックス項目になります。タイトルオブジェクトとは、PowerPoint のアウトライン表示に太字で表示される部分です。



- ✓ あとで変更もできますが、事前に設定すると変換後の処理が簡単です。
- ✓ タイトルオブジェクトがどれかわからない場合は、アウトラインエリアで文章を入力すると、タイトルオブジェクトがスライドエリアに表示されます。

4-2-2. 動画エリアに表示される素材 (MP4 (M4V) ,AVI,WMV,FLV)

動画エリアに映像を表示したい場合は、ビデオファイルを用意します。

動画を表示したい場合は、MP4 (M4V) 、 AVI、 WMV、 FLV ファイルを用意します。

- 標準サイズ：16：9または、4：3 (240×180 ピクセルより大きい場合自動縮小)
- ファイル名：半角英数字にしてください
- ✓ MP4 (M4V)、AVI、WMV、FLV ファイル以外は取り込みません。
- ✓ 用意したビデオファイルによって取り込み方法が異なります

MP4 (M4V) 、 AVI、 WMV	<p>ビデオファイルを取り込む際に品質 (高品質、中品質、低品質) を指定して MP4 に変換して取り込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 取り込んだビデオファイルの再生時間の半分から同じ程度の時間がかかります。 ✓ 取り込んだビデオファイルの比率は変更されません。 ✓ 指定した品質より低い品質のビデオファイルを変換しても、品質は向上しません。
MP4	<p>変換せずにそのままの品質で取り込みます。取り込みには、別途、動画変換ソフトなどで事前に変換する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ MP4 ファイルのエンコード設定値は、「4-2-4. 変換せずに取り込むことができる動画 (MP4) の条件」を参照して下さい。

4-2-3. 音声素材 (MP3)

音声を再生したい場合は、MP3 形式の音声ファイルを用意します。

- サンプルレート (Hz) 44,100/22,050/11,025 (左から高品質順)
 - ビットレート (kbps) 128~48 (数字が大きいほど高品質)
- ✓ ファイル名は、半角英数字にしてください。
 - ✓ 参考：音声合成の MP3 は初期状態で、サンプルレート 44.1kHz、ビットレート 48bps で作成しています。
 - ✓ 音声合成オプション (有償) をご契約の場合、音声合成で MP3 ファイルを作成できます (読み上げの速さ、音量、ピッチも設定可能)。音声合成には原稿として CSV ファイルが必要です。詳細は「B5. 音声合成ツールの使い方」を参照してください。

4-2-4. 変換せずに取り込むことができる動画 (MP4) の条件

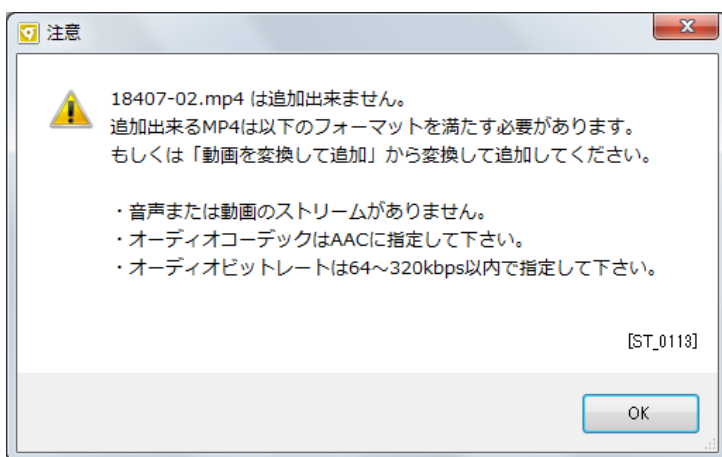
MP4 ファイルを変換せずに STORM V へ取り込む場合、以下の条件 (エンコードの設定値) で MP4 ファイルをご準備ください。

- 動画コーデックが H.264/AVC であること
 - 音声ストリームがあること (音声ストリームの無い mp4 は不可)
 - オーディオコーデックが AAC であること (MP3、AC3 などは不可)
 - 音声モードが 2 チャンネルであること (3ch、5.1ch など複数ストリームは不可)
 - 音声ビットレートが 64kbps~320kbps 以内であること
- ✓ 細かな動画の推奨エンコード値は、以下の資料をご参照ください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/120/>

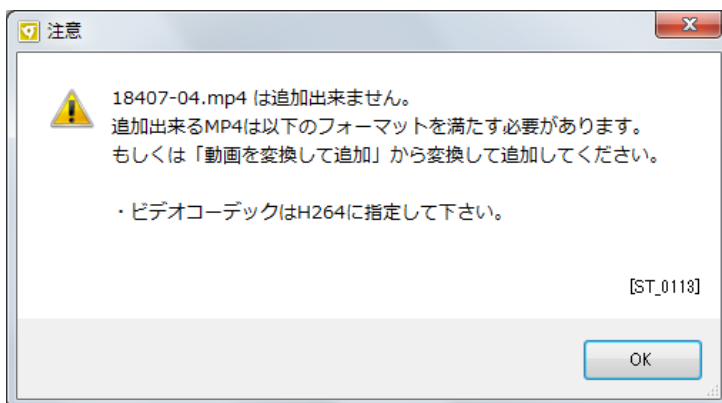
ワンポイント

以下のようなエラーメッセージが表示された場合、STORM V に無変換で取り込むことが行えない MP4 動画となります。MP4 ファイルのエンコード値をご確認ください。

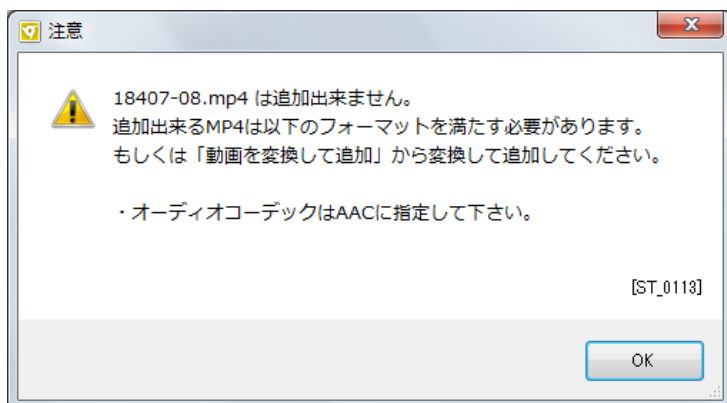
●音声ストリームがない mp4 ファイルの場合（動画だけのファイル）



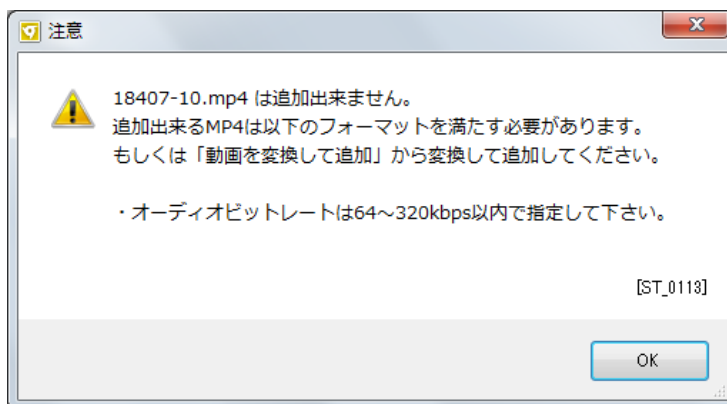
●mp4 のビデオコーデックが H264 でない場合



●mp4 のオーディオコーデックが AAC ではない場合

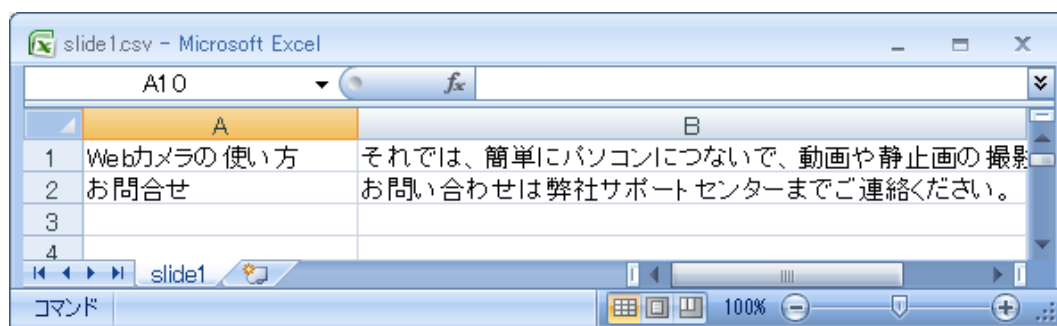


●mp4 のオーディオビットレートが指定範囲外の場合



4-2-5. メニューエリアに表示される素材 (CSV)

CSV 形式で用意します。A 列が INDEX に、B 列が NOTE になります。



- ✓ ファイル名は、半角英数字にしてください。
- ✓ 素材として PowerPoint を利用する場合、PowerPoint から自動抽出できます。INDEX は PowerPoint のタイトルオブジェクトから、NOTE は PowerPoint のノートから抽出します。
- ✓ CSV で準備しなくても編集画面で直接入力もできます。指定するメニュー数が少ない場合、直接入力の方が便利です。

4-2-7. ロゴ画像エリアに表示される素材 (JPG、GIF、PNG)

自社のロゴなどを表示したい場合は用意します。画像には、任意の URL へのリンクを設定できます。



freearea01.gif

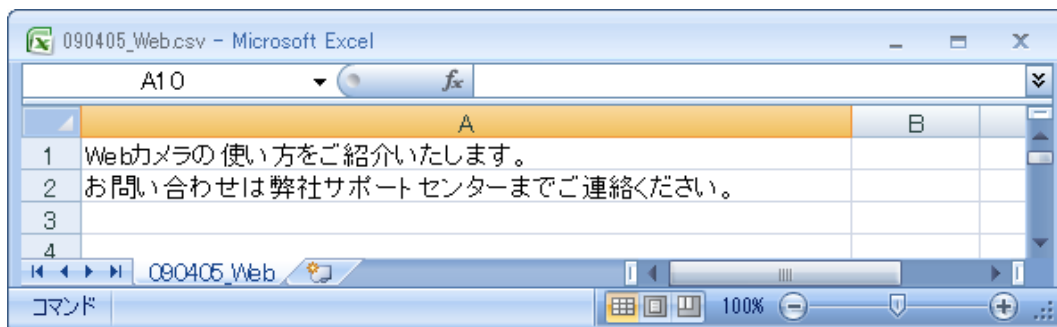


freearea02.gif

- サイズ：250×50 ピクセル
- ✓ ファイル名は、半角英数字にしてください。
- ✓ 画像が規定サイズでない場合、自動的に拡大縮小されます。

4-2-6. テロップエリアに表示させる素材 (CSV)

テロップを使用する場合、CSV 形式で用意します。



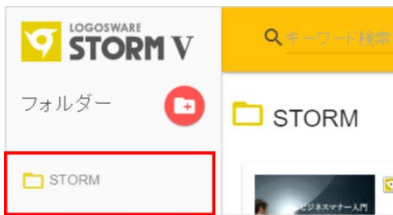
- ✓ ファイル名は、半角英数字にしてください。
- ✓ CSV で準備しなくても編集画面で直接入力もできます。指定するテロップ数が少ない場合、直接入力の方が便利です。
- ✓ テロップの文字数制限はありませんが、右から左へテロップが流れるため表示時間が短いと全て表示しきれない可能性があります。コンテンツのプレビューで目的通りに表示するか確認してください。

4-3. 通常作成モードでコンテンツを作成

本手順ではすべての素材を使用しますが、必要な素材だけをご利用ください。

4-3-1. ベースコンテンツを作る

1. コンテンツを保存するフォルダを選択します。



- ✓ STORM V のインストール後の初期状態には、「STORM」というフォルダが作成されています。
- ✓ オリジナルのフォルダを作る場合は、【フォルダ】からフォルダを作成します。フォルダ管理の詳細は、付録「[B3. コンテンツ一覧の操作](#)」を参照してください。

2. 【新規作成】を選択し【通常作成モード】をクリックします。
3. ファイル名を入力し、コンテンツの種別を選択します。【作成】をクリックします。



- ✓ ファイル名に記号等の文字が含まれる場合、コンテンツの書き出しに失敗する場合がありますので、使用しないでください。
- ✓ コンテンツの種類は、編集画面の【コンテンツの設定】で変更可能です。

- ✓ コンテンツの種類の詳細は、付録「[B1-6. コンテンツの種類の変更](#)」を参照して下さい。

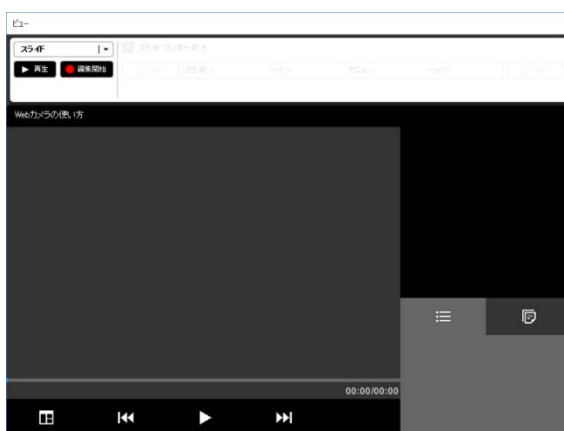
4. 表示用タイトル（コンテンツ名）を入力します。
 - ✓ デフォルトは、手順3. で入力したファイル名になります。
5. 【OK】 をクリックします。
 - ✓ 再生方法、コンテンツの種類は、必要に応じて変更します。変更は、編集画面の【コンテンツの設定】でも行えます。
 - ✓ コンテンツの再生時間がわかる場合は入力します。本書では後ほど設定します。
 - ✓ コンテンツの設定の詳細は、付録「[B1. コンテンツの設定変更](#)」を参照してください。
6. 編集画面が表示されます。

編集画面は、コンテンツ編集画面（タイムライン）：左から右に時間が進むタイプと、ビュー画面：現状のコンテンツを参照する画面で構成されています。

タイムライン



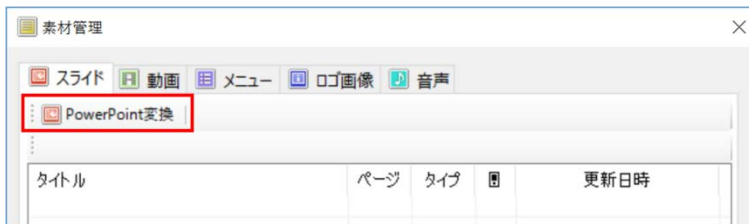
ビュー画面



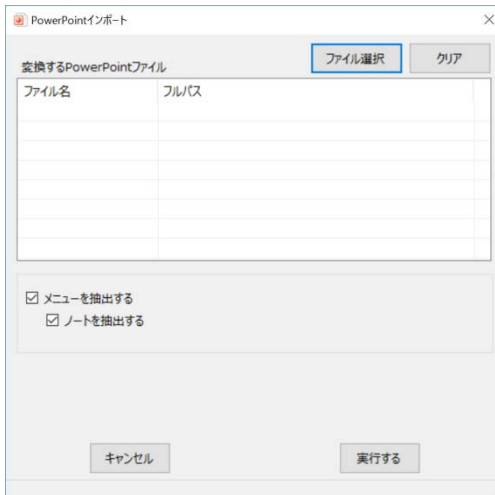
4-3-2. 素材を STORM V に取り込む

4-3-2-1. 素材取り込み手順

1. コンテンツ編集画面で【 素材管理 】をクリックし、素材管理画面を表示します。コンテンツの素材は、素材管理から取り込みます。
2. PowerPoint を取り込みます。
 - スライドタイプコンテンツの場合（PowerPoint）



- 【PowerPoint 変換】をクリックします。その後、PowerPoint ファイルを選択して【実行】をクリックします。



ファイル選択	PowerPoint を選択します。
メニューを抽出	PowerPoint のタイトルオブジェクトから INDEX 項目を抽出します。「ノート抽出」をチェックすると、PowerPoint のノートから NOTE 内容も抽出します。

3. 動画 (MP4 (M4V) 、AVI、WMV、FLV) を取り込みます。

- ✓ 取り込む動画ファイルによって取り込み先が異なります。



- MP4 (M4V) 、AVI、WMV を取り込む場合は、【動画を交換して追加】をクリックします。
 - ⇒ 品質 (高品質・中品質・低品質) を設定して MP4 ファイルに変換して取り込みます。
 - ⇒ 品質の設定値は次のページのワンポイントをご参照ください。
 - ⇒ 変換時間は、取り込んだ動画再生時間の半分から同じ程度の時間がかかります
- 動画の品質を下げずに、MP4 を取り込む場合は、【M4 ファイルの追加】をクリックします。
 - ⇒ MP4 ファイルの品質を下げずに取り込みます。
- ✓ MP4 のエンコードの設定値は、「[4-2-4. 変換せずに取り込むことができる動画 \(MP4\) の条件](#)」を参照して下さい。

ワンポイント

取り込む動画の品質設定値

動画インポート

インポートする動画ファイルを選択して下さい。(mp4, flv, avi, wmv) ファイル選択

ファイル名	フルパス

動画を次の品質に変換してインポートします。

サイズ: 800x600 (SVGA) ▼

画質: 1.2Mbps (標準) ▼

音質: 160kbps (高品質) ▼

実行

✓ 画質設定の設定値

	高品質	標準	低品質
サイズ 比率 (4:3)	800×600 (SVGA)	640×480 (VGA)	320×240 (QVGA)
画質	2.0 Mbps	1.2 Mbps	500 kbps
音質	160 kbps	128 kbps	64 kbps

✓ 品質を選ぶポイント

高品質	メインエリア (通常スライドが表示されるエリア) に動画を表示させる場合
中品質	メインエリアと動画エリアで切り替える場合
低品質	動画エリアに表示させる場合

4. メニュー（CSV）を取り込みます。PowerPoint 変換時に【メニューを抽出】をチェックしていた場合、PowerPoint から抽出した CSV が自動で作成されています。



- 事前に用意したメニューを取り込む場合は【追加】をクリックします。
 ✓ CSV で登録しなくても以降の手順で手作りすることもできます。
- メニューの情報で音声合成したい場合は、音声合成をクリックします。音声合成ツールについては、付録「[B4. 音声合成ツールの使い方](#)」を参照してください。

5. ロゴ画像（JPEG、PNG、GIF）を取り込みます。【追加】をクリックします。



6. 音声（MP3）を取り込みます。



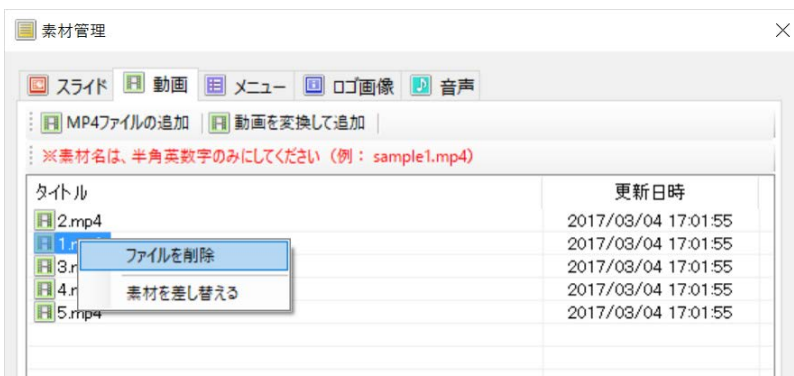
- 事前に用意した MP3 を取り込む場合は【追加】をクリックします。
- 音声合成でデータを作る場合は【音声合成】【設定】をクリックします。音声合成ツールについては「[B4. 音声合成ツールの使い方](#)」を参照してください。
- 事前に読み上げる単語を登録したい場合は、【単語登録】をクリックします。単語登録については、「[B5. 音声合成の単語登録](#)」を参照してください。

7. 【OK】でコンテンツ編集画面に戻ります。素材エリアに素材が表示されます。



4-3-2-2. 素材管理画面のポイント

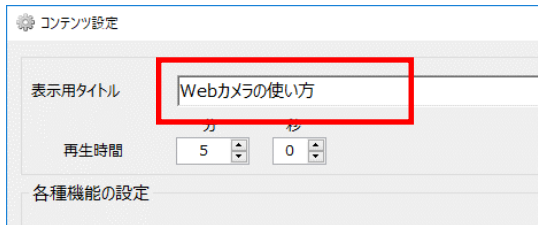
- 素材名を右クリックすると、素材の差し替え、削除ができます。



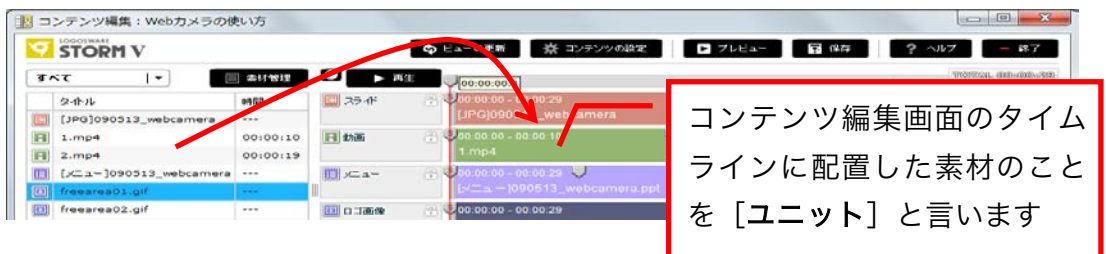
4-3-3. 素材をコンテンツ編集画面に配置する

4-3-3-1. 素材配置手順

1. 【コンテンツの設定】をクリックし、コンテンツの再生時間を修正します。ここでは、ビデオの合計再生時間を指定し、【OK】をクリックします。



- ✓ 一般に、ビデオや音声の再生時間をもとに設定します。再生時間は素材一覧（コンテンツ編集画面の左側）に表示されます。
 - ✓ 再生時間は最大2時間です。
2. 使用する素材を、素材一覧からコンテンツ編集画面にドラッグして配置します。



4-3-3-2. 素材配置のポイント

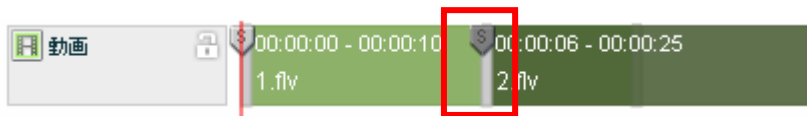
- ユニットの削除するには、ユニットを選択し（少し色が濃くなります）、右クリック後のメニューから削除します。必ず、削除すべきユニットだけが選択されているか確認してから削除してください。



- 任意の間隔をあけて、複数素材を配置できます。ただし、動画を配置する場合は間隔を空けないことをお勧めします。全体の再生時間が長くなる、次の動画が再生されるまで映像が停止したままになる、といった問題がおきます。



- 素材を重ねて配置すると、次の素材が開始した時点で再生が切り替わります。



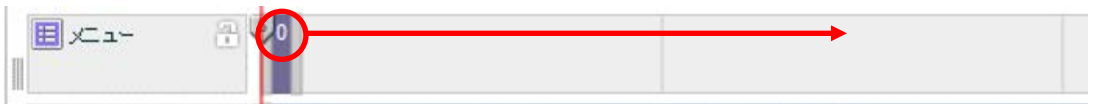
- スライド、画像のユニットは、一つ目の素材を配置するとコンテンツの終了まで設定されます。複数配置する場合、一つ目の素材の終了ラインを短くしてから、次の素材を配置してください。



- メニューは、PowerPoint 変換時に作成または、CSV から取り込まなくてもコンテンツ編集画面上で手作りすることができます。メニューの何もないところで右クリックし【キューの追加（新規ユニット作成）】を選びます。



空のユニットが追加されるので、右端のバーをドラックして引き伸ばします。



右端のバーを掴めない場合は、下部にある拡大ボタンで拡大してください。

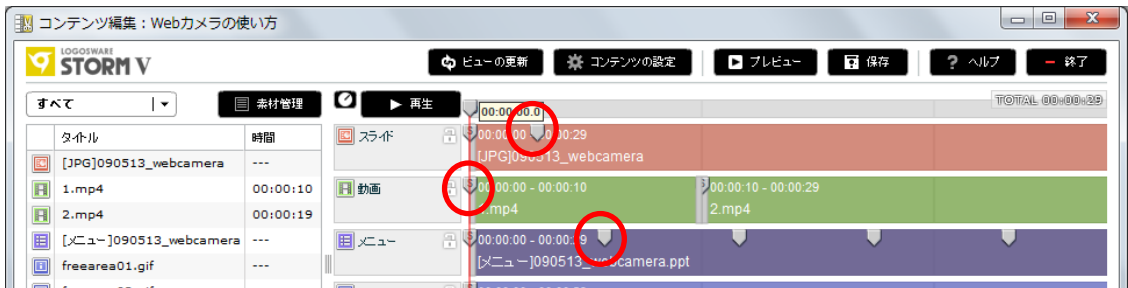


空のメニューには、手動でキューポイントを設定する必要があります。以降の「キューポイント」に関する手順を参照してください。

4-3-4. キューポイントを設定する

4-3-4-1. キューポイント設定手順

キューポイントとは「このタイミングで、このアクションを行う」という指示項目です。



- ✓ コンテンツ編集画面で追加する方法を紹介します。別の方法として「[B6. ビュー画面でのキューポイント設定 \(イベントレコーディング方式\)](#)」を参照してください。コンテンツの進みに合わせてキューポイントを設定するときに便利です。

1. スライドキューポイントを設定します。

- スライドタイプコンテンツの場合（スライドキューポイント）
【ビューの更新】をクリックし、ビュー画面に最新の状態を反映させます。



その後【再生】をクリックし、ビュー画面を見ます。キューポイントを設定するタイミングが来たら一時停止します。

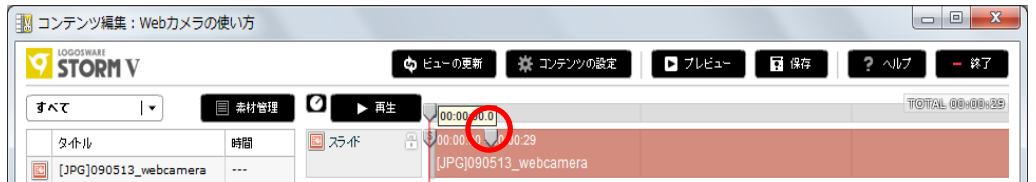


ガイドバーが切り替えタイミングまで移動していることを確認し、ユニットを選択します（少し色が濃くなります）。その状態で、ユニット上で右クリック

し【キューの追加（選択中のユニット）】を選択します。



ユニット上にキューポイントが作成されます。キューポイントをクリックし、スライド番号とアニメーション番号を指定します。



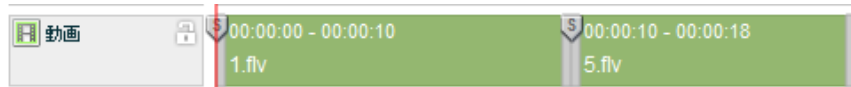
- 時間：
指定のスライドの再生開始時間
- スライド：
何枚目のスライドを表示するか
- アニメ：
いくつめのアニメーションを表示するか指定(アニメーション設定がある場合有効)

以上の操作を繰り返し、全スライド分行います。

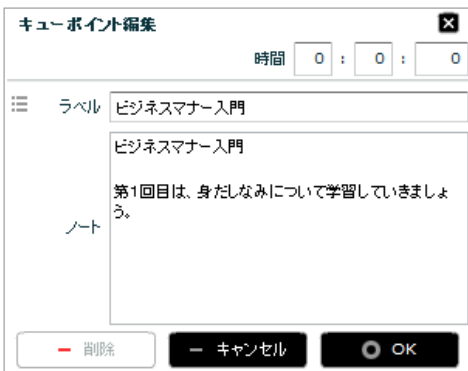
- ✓ 【ビューの更新】をクリックすると、ビュー画面に反映されます。
- ✓ タイミングを正確に指定したい場合は、「時間」に数値を入力します。
続けて、動画のキューポイントを編集します。
キューポイントをクリックし、動画の下に表示されるタイトルを入力します。



- 時間：
動画の再生を開始する時間
- タイトル：
再生時動画の最下部にタイトル名が表示される



2. メニューのキューポイントを編集します。



- 時間：
メニューの再生を開始する時間
- ラベル：
コンテンツの INDEX 欄に反映
- ノート：
コンテンツの NOTE 欄に反映

3. ログ画像キューポイントを編集します。ロゴに URL リンクを設定できます。



- 時間：画像の表示を開始する時間
- URL：
画像をクリックすると、設定した URL のサイトが表示されます。
- ターゲット：
画像をクリックしたときのサイトの開き方を指定します。

- リンク先コンテンツへの引き渡し設定
URLに指定したリンク先がSTORMまたはTHiNQコンテンツの場合に有効な設定です。このコンテンツで入力された「パスワード」および「スコア機能のユーザー入力情報」をコンテンツに引き渡すことができます。

詳細は、「[A11.コンテンツを連結する](#)」をご参照ください。

- ➡ パスワードを引き渡す
チェックをつけると、STORMコンテンツ上で入力したパスワードの情報を次のコンテンツに引き渡すことができます。
- ➡ スコア機能のユーザー入力情報を引き渡す
チェックをつけると、受講者が入力したユーザー入力情報を次のコンテンツに引き渡すことができます。

4. 音声のキューポイントを編集します。音声のループ再生を設定できます。



- 時間：音声の再生を開始する時間
- MP3：音声ファイル名
- ループ再生：
チェックすると、コンテンツの終わりまで、または次の音声の再生開始までループします。

5. レイアウトのキューポイントを設定します。制作者の意図するタイミングで、画面のレイアウトを変更することができます。

- ✓ レイアウト変更の詳細は、「[A4.画面のレイアウトを変更する](#)」を参照下さい。

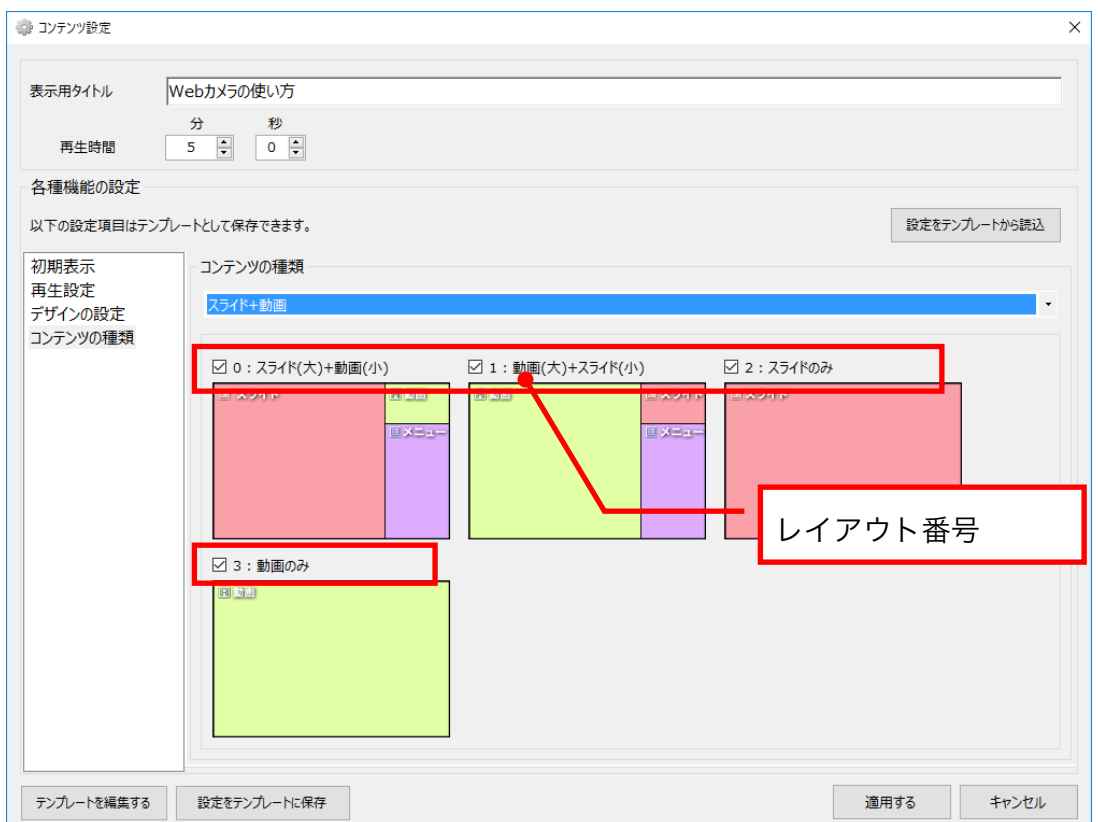


キューポイント編集画面でレイアウト番号を入力します。



- 時間：レイアウトを切替える時間
- セット：レイアウト番号

レイアウト番号は、コンテンツの設定>コンテンツの種類から確認できます。



4-3-4-2. キューポイント設定のポイント

- キューポイントをまとめて移動するには？
キーボードの Ctrl キーを押しながらキューポイントをクリックすると、複数選択できます（少し色が濃くなります）。

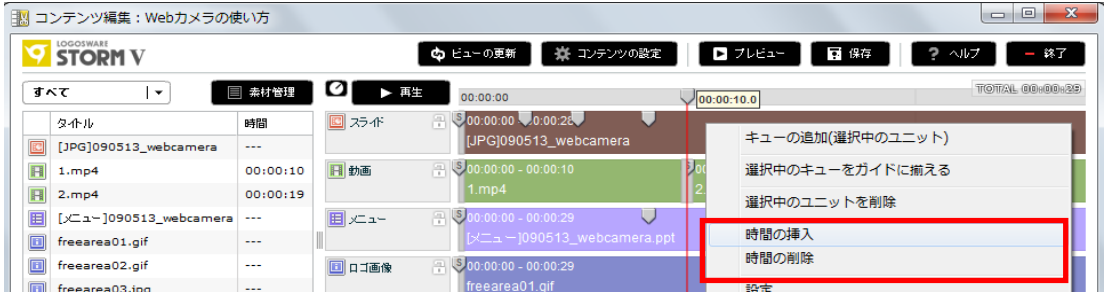


- キューポイントをユニット横断で、縦一列に揃えるには？
 1. 揃えたいタイミングにガイドバーを移動します。
 2. キーボードの Ctrl キーを押しながら、揃えたいキューポイントを選択します。
 3. 右クリックし【 選択中のキューをガイドに揃える 】を選択します。



● 時間の挿入と削除をしたい

「ある時間から後ろの情報を一定時間ずらしたい」または「一定時間を削除したい」場合、時間の挿入と削除が便利です。ガイドバーを移動し、コンテンツ編集画面上で右クリックし【時間の挿入】または【時間の削除】を選択します。



- 挿入したい時間を、時、分、秒の順に指定します。秒は、小数点第一位まで指定できます。
- 指定できる最大時間は「挿入可能時間」にある値です（最大再生時間 2 時間から計算します）



- 削除したい時間を、時、分、秒の順に指定します。秒は、小数点第一位まで指定できます。
- 指定できる最大時間は「削除可能時間」にある値です（ガイドバーの前後に指定されているキューポイントの間の時間を削除できます）

- キューポイントやユニットが重なって見えにくいときは、左下の拡大鏡が便利です。【+】をクリックすると拡大されます。



- ユニットが動いてしまいます・・・！

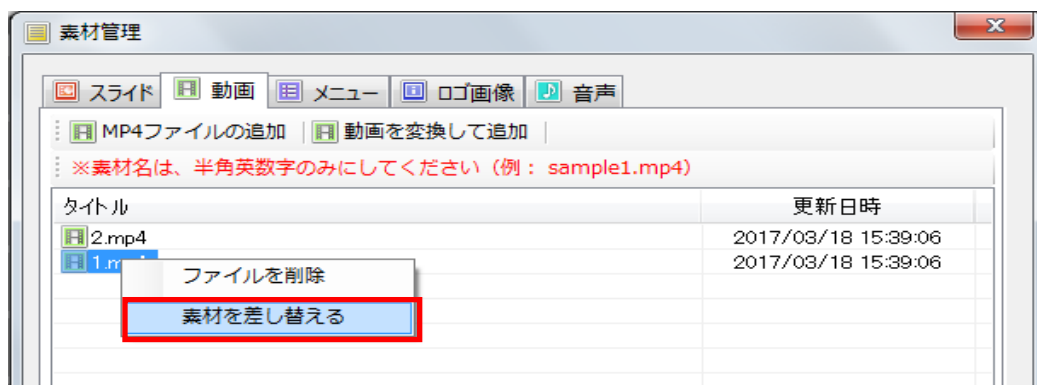
配置したユニットを移動しないようにロックすることができます。配置した素材の鍵マークをクリックします。キューポイントは動かしますが、ユニット自体は動かなくなります。



- 素材のデータ差し替えをしたい時

素材に誤りを発見した場合、キューポイントはそのままに素材を差し替えることができます。素材管理画面で差し替えたい素材を選択し右クリックし、【素材を差し替える】をクリックします。新しいファイルを選択します。ファイル名は元のファイル名と異なっても問題ありません。

- ✓ 元のファイル名と異なったファイル名で差し替えた場合でも、タイトル一覧に表示されるファイル名は元ファイル名のままです。更新日時でご判断下さい。



- ✓ PowerPoint の差し替えて、途中にスライドを追加した PowerPoint に差し替えたい場合は、以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/200/>

4-3-5. コンテンツをプレビューする

作成したコンテンツは【プレビュー】ボタンより確認することが可能です。

1. 【プレビュー】ボタンをクリックします。
2. プレビュー選択画面より確認したいコンテンツタイプを選択します。
しばらく待つと選択したコンテンツタイプのコンテンツが Internet Explorer で表示されます。Internet Explorer が無効化されていた場合は、標準ブラウザで表示されます。



- ✓ コンテンツを公開するには？
「[第5章 コンテンツを公開する](#)」を参照してください。

第 5 章 コンテンツを公開する

5-1. コンテンツ公開の概要

出来上がったコンテンツを公開するには、以下の方法があります。

Web サーバーで公開する

Web サーバーで公開する方法です。

コンテンツをアップロードする方法には、以下の 2 種類があります。

- FTP でアップロードする方法
一般的な Web サーバーで利用する方法です。
- LOGOSWARE SUITE Uploader でアップロードする方法
ロゴスウェアが提供する WordPress 用プラグインを利用する方法です。事前のセットアップが必要ですが、WordPress でのアップロードがとても簡単になります。

詳細は「[5-2. Web サーバー/LMS で公開する](#)」を参照してください。

- ✓ WordPress とは、オープンソースの Web サイト構築システムのことです。

LMS（学習管理システム）で公開する

LMS とは Learning Management System の略で、e ラーニングの進捗管理をするためのシステムです。STORM V コンテンツは、SCORM1.2、2004 に対応しているため、これらの規約に準拠する LMS に掲載し、進捗を管理することができます。

詳細は「[5-2. Web サーバー/LMS で公開する](#)」を参照してください。

- ✓ LMS 管理者の方に必ず確認してほしいことをまとめました。付録「[D2. LMS 利用時の注意点のまとめ](#)」を参照してください。

LibraV で公開する

Libra は、ロゴスウェア製品の本棚型ライブラリシステムです。デジタルコンテンツを集約して整理し、閲覧、検索、共有ができるコンテンツ管理システムです。

詳細は「[5-4. LibraV で公開する](#)」を参照してください。

✓ Librav のご利用には、別途、LibraV の契約が必要です。

CD や DVD で配布する

- オフライン閲覧キットを利用する（有償）

詳細は「[A6.コンテンツを CD/DVD で配布する](#)」を参照してください。

5-2. Web サーバー/LMS で公開する

5-2-1. コンテンツを書き出す

1. 【書き出し】 ボタンをクリックします。



2. 書き出し形式を【書き出し形式】のプルダウンより書き出す形式を選択します。

Web サーバーでコンテンツ公開する場合は、Web 公開用を選択します。LMS でコンテンツ公開する場合は、LMS 教材用を選択してください。

- ✓ LMS 教材用をご利用になる場合は、ご利用 LMS の SCORM 形式の対応形式をご確認ください。

書き出し形式は以下の通りです。

WEB 公開用	一般的な WEB サーバーで公開する形式です。	
LMS 教材用	SCORM（e ラーニングの規格）に対応した LMS（学習管理システム）へ、教材として登録する形式です。	
	SCORM1.2	SCORM1.2 に対応した LMS 用の形式
	SCORM1.2 (SumTotal)	SumTotal 用の形式
	SCORM2004	SCORM2004 に対応 LMS 用の形式

- ✓ 「ZIP」とある項目を選ぶと、ZIP 圧縮して出力されます。

- ✓ スコア設定の「スコアを有効にする」にチェックを入れた場合、簡易履歴蓄積機能を利用できません（誰が、いつ閲覧済みになったかを確認できる機能）。簡易的なeラーニングに適しています。レギュラー版、エキスパート版をご契約の方のみ利用できます。
詳細は「[A9. スコアを利用する（簡易履歴蓄積機能）](#)」を参照してください。
- ✓ LMS 教材用で選ぶべき SCORM 形式は、LMS によって異なります。LMS 管理者にお問い合わせください。（ロゴスウェア社製 LMS「Platon（プラトン）」を利用している場合は、書き出し形式「LMS 教材用 SCORM1.2」を選択し、zip のチェックを入れます。）
- ✓ 書き出されたコンテンツは、ローカル環境での閲覧は行えません。
- ✓ コンテンツがあるパス内に 2 バイト文字（全角文字）が含まれていると正しく再生されないことがあります。フォルダ名を半角英数字に変更し、C ドライブ直下などへ移動してご確認ください。

3. 動画設定 ※必要に応じて

コンテンツが長尺の場合は、「音声・動画をメニューで分割する」にチェックを入れることをお勧めします。チェックを入れることにより、メニュー（index）単位で動画・音声ファイルが分割され、コンテンツ再生がスムーズになります。

画質	動画品質を設定します。画質は以下の 3 つです。 200kbps（低品質）、500kbps（標準）、700kbps（高品質）
音声・動画をメニュー 一毎に分割する	コンテンツの音声や動画をメニュー毎に分割します。一度一毎に読み込むファイルサイズが小さくなるため低速回線でも閲覧しやすくなる反面、読み込み回数が増えます。

- ✓ 予めコンテンツの書き出し設定の初期値を設定することが可能です。詳しくは「[B2. コンテンツ書き出しの初期値設定](#)」を参照してください。

4. コンテンツ閲覧時のパスワードを設定します。※必要に応じて

<p>閲覧設定</p>	<p>閲覧者がコンテンツを開くときに、パスワードを要求するよう設定できます。チェックボックスをチェックし、設定したいパスワードを入力します（半角英数字および_@.+-、32文字以内）。パスワードを確認したい場合、【表示】ボタンをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本機能は簡易的なアクセス制限機能です。コンテンツの確実な保護を保障するものではありません。 ✓ 本機能は原則として、Web サーバー上のコンテンツを対象としています。コンテンツデータがローカル（パソコン上）にある場合、動作しないことがあります。 ✓ 「プレビュー」ではパスワード入力画面は表示されません。
-------------	---

5. 【書き出し】をクリックします。

5-2-2. コンテンツを公開する

5-2-2-1. Web サーバーへ FTP でアップロードする

1. 書き出したコンテンツフォルダを、FTP クライアントソフトなどで、Web サーバーにアップロードします

書き出した「samplecontents」フォルダを、「FileZilla」という FTP クライアントソフトで、「tx.logosware.com/takahamahy/sample」の領域にアップロードしている例です。

- ✓ Web サーバーのアップロード先や、FTP クライアントソフトの設定値などは、Web サーバー管理者までお尋ねください。
- ✓ FPT クライアントツールの使い方は開発元にお尋ねください。

2. ブラウザにアップロード先の URL を指定して、コンテンツが起動するかどうか、確認します。

「tx.logosware.com/takahamay/sample」にアップロードした「samplecontents」の中にある index.html を呼び出す URL を、ブラウザの URL 欄に指定しています。

- ✓ スマートフォン、タブレット対応コンテンツの場合、同じ URL をスマートフォンから閲覧すると、それぞれのコンテンツを表示します。

3. 必要に合わせて、コンテンツを起動するための HTML を作成します。index.html をリンクとして呼び出してください。

- ✓ HTML の知識が必要です。
- ✓ ログosウェア公式サイトに STORM コンテンツを呼び出しているページがありますので、参考にしてください。（Internet Explorer における HTML ソースの表示方法： 右クリック>ソースを表示）
<http://suite.logosware.com/STORM V/sample/>

5-2-2-3. LMS へアップロード

アップロード方法は LMS によって異なります。

LMS 管理者にお問い合わせください。

5-4. Libra V で公開する

- ✓ LibraV のご利用は、別途、LibraV のご契約が必要です。
- 1. コンテンツ一覧で書き出し対象の【書き出し】をクリックします。
- 2. 【書き出し形式】プルダウンより、Web 公開用を選択し、「ZIP」にチェックを入れます。

画質	動画品質を設定します。画質は以下の3つです。 200kbps（低品質）、500kbps（標準）、700kbps（高品質）
音声・動画をメニュー毎に分割する	コンテンツの音声や動画をメニュー毎に分割します。一度に読み込むファイルサイズが小さくなるため低速回線でも閲覧しやすくなる半面、読み込み回数が増えます。
パスワードを設定する	閲覧者がコンテンツを開くときに、パスワードを要求できるよう設定できます。チェックボックスをチェックし、設定したいパスワードを入力します（半角英数字および_@.+、32文字以内）。パスワードを確認したい場合、【表示】ボタンをクリックします。 ✓ 本機能は簡易的なアクセス制限機能です。コンテンツの確実な保護を保障するものではありません。

- ✓ 予めコンテンツの書き出し設定の初期値を設定することが可能です。詳しくは付録「[B2. コンテンツ書き出しの初期値設定](#)」を参照してください。
- 3. 【書き出し】ボタンをクリックし、コンテンツを書き出します。
- 4. 書き出したコンテンツを Libra V にアップロードします。
- ✓ Libra V へのコンテンツ登録方法については、Libra V の操作マニュアルを参照してください。

<https://doclib.logosware.com/content.html#!/759/>

付録 A (応用設定)

A1. コンテンツを CD/DVD で配布する

A1-1. オフライン閲覧キットを使用する方法

STORM V で作成されるコンテンツもオフライン閲覧キット上で再生することが可能です。

- ✓ コンテンツデータをローカル実行するための有償オプションです。詳細は以下公式サイト等を参照してください。



公式サイト <http://suite.logosware.com/suite/offlinekit/>

体験版ダウンロードサイト <https://learning.logosware.com/soft/offline-kit>

A2. スコアを利用する（簡易履歴蓄積機能）

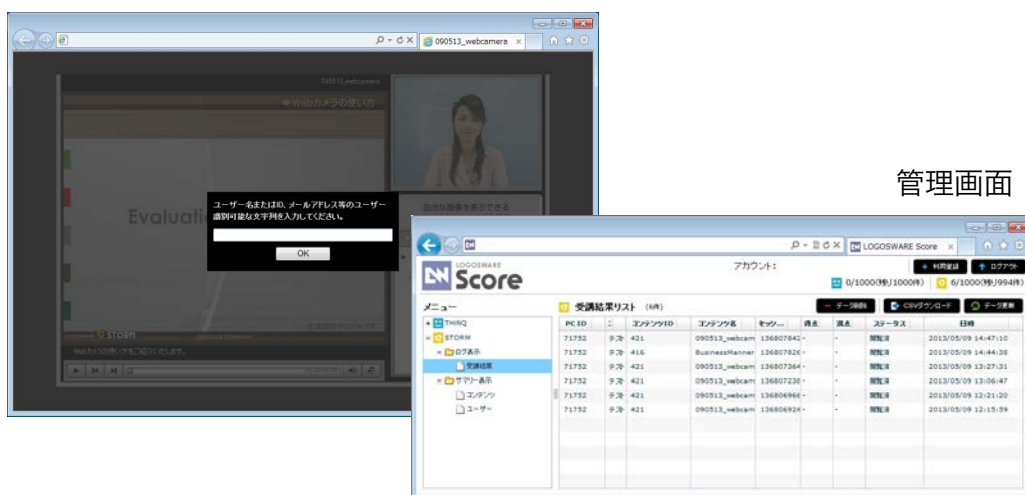
A2-1. スコアとは？

スコアとは、STORM V で作成したコンテンツの学習履歴を蓄積し、管理者に学習履歴データを提供するサーバー・システムです。STORM V（レギュラー版、エキスパート版）の購入者に対して提供されます。

このシステムは米グーグル社のクラウド・コンピューティング環境「Google App Engine」を利用して開発されたもので、Google アカウントでログインしたうえで利用します。コンテンツを配信する運営者は、追加の費用やサーバーの準備なしに、各学習者の学習履歴を管理することができます。

閲覧者画面

- ✓ メッセージを変更したり、入力画面を表示させないようにすることもできます。「パスワード設定」機能を使うと、見せたい人だけにコンテンツを見せることもできます。



スコアで学習履歴を蓄積する場合は、「スコア操作マニュアル」をご参照ください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/433/>

A3. コンテンツを連結する

A3-1. コンテンツの連結とは

STORM コンテンツ（※1）と THiNQ コンテンツ（※2）を連結することができます。

STORM で学習したあと、THiNQ で理解度確認のテストを行う、また、逆に THiNQ でテストを行い、テスト結果に応じて STORM の学習内容を振り分ける使い方も可能です。

- ✓ コンテンツの連結は、両コンテンツとも Web サーバーにアップロードされている場合に限りです。
- ✓ 学習管理システム (LMS) にアップロードされたコンテンツでは連結は行えません。

※1 STORM V で作成したコンテンツ（以下、STORM コンテンツ）

※2 THiNQ Maker で作成したコンテンツ（以下、THiNQ コンテンツ）

A3-2. リンク先コンテンツへの引き渡し機能

リンク先コンテンツへの引き渡し機能を利用すれば、先のコンテンツを閲覧する際に入力したパスワード、及び、ユーザー入力情報（スコア機能）を、連結された次のコンテンツに引き渡すも可能です。

情報を引き渡すことで、受講者は連結された次のコンテンツで再度入力する手間が省けます。具体的な連結方法につきましては、次節で説明します。

A3-3. 連結されたコンテンツを作成する

STORM コンテンツと THiNQ コンテンツの連結方法は「コンテンツ連結の設定方法」をご参照ください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/583/>

A4. 画面のレイアウトを変更する

コンテンツの用途に合わせてビデオ、スライド等の位置をさまざまなレイアウトに変更する事が可能です。

スライドのみ

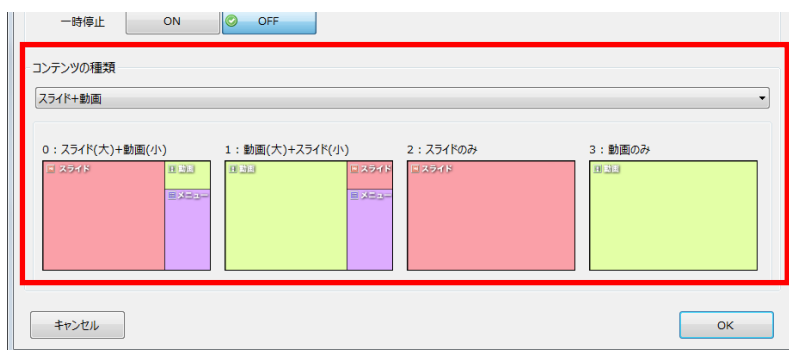


ビデオメイン



1. 対象コンテンツの編集画面を開きます。
2. 【コンテンツの設定 > コンテンツの種類】 をクリックします。
3. プルダウンメニューから利用するコンテンツの種類を選択します。

レイアウトを選択した際、下記図の赤枠囲ったレイアウト番号を覚えておき、【OK】をクリックします。



(例：動画を大きく見せたい場合は「1」を覚えておきます)

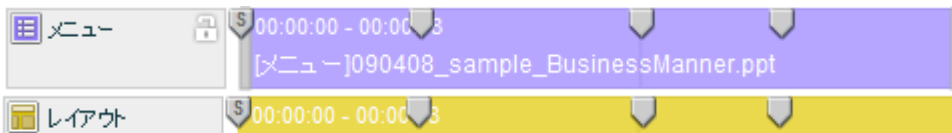
4. 編集画面に戻り、変更したいタイミングのレイアウトのキューポイントを開きます。



- ✓ 最初から最後まで同じレイアウトで再生させたい場合は、一つ目のキューポイント以外は削除して下さい。
 - ✓ 任意のタイミングにキューポイントを追加する事も可能です。(追加箇所にガイドバーを移動>ユニット選択(少し色が濃くなります)>ユニット上で右クリック>キューの追加)。
5. 上記3で覚えていた数字(例:1)をセットの部分に入力し【OK】をクリックします。



6. 【ビューの更新】をクリックしてレイアウトが変更された事を確認します。
- ✓ シークバーがレイアウトキューポイントの時間を通過すると、レイアウトが切り替わります。閲覧者が手動でシークバーを移動してレイアウトキューポイントの時間を飛び越すような場合やメニューで移動した場合は、レイアウトが切り替わりませんのでご注意ください。
- また、複数レイアウトを使う場合は、メニューの切り替わりタイミングでレイアウトの切り替わりも設定することをお勧めします。

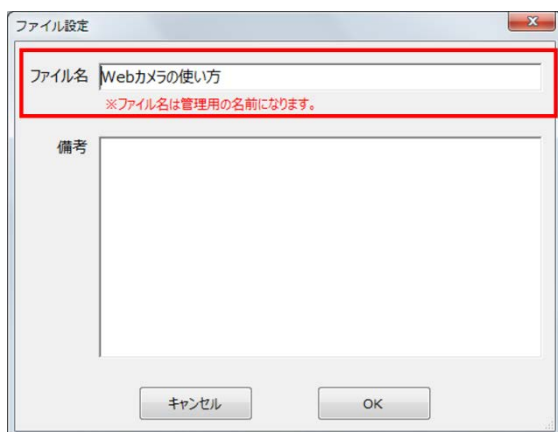


- ✓ 各コンテンツの種類のリクエスト番号とレイアウト内容の対比は「[B1-6. コンテンツの種類の変更](#)」を参照して下さい

A5. コンテンツ管理名を変更する

STORM V 内でのコンテンツ管理名を変更することが可能です。

1. 該当コンテンツの【ファイル名の変更】を選択します。
2. 変更したい管理用のファイル名を入力し、【OK】ボタンをクリックします。



- ✓ コンテンツ公開時のタイトル変更は、「[A6. コンテンツ公開時のタイトルを変更する](#)」をご参照ください。

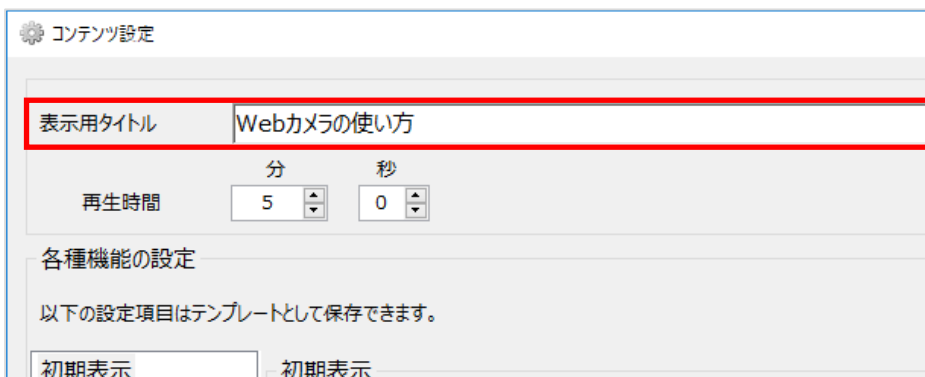
A6. コンテンツ公開時のタイトルを変更する

実際にコンテンツを公開するときのタイトルの変更も行うことが可能です。

1. コンテンツ一覧の公開時のタイトルを変更したいコンテンツの【編集】をクリックします。
2. コンテンツ編集の【コンテンツ設定】をクリックします。



3. 表示用タイトルに公開時に表示させたいタイトルを入力し【適応する】をクリックします。



4. コンテンツ編集画面の【保存】または、【ビューの更新】ボタンをクリックし、タイトルが変更されているのを確認します。

付録 B (編集)

B1. コンテンツの設定変更

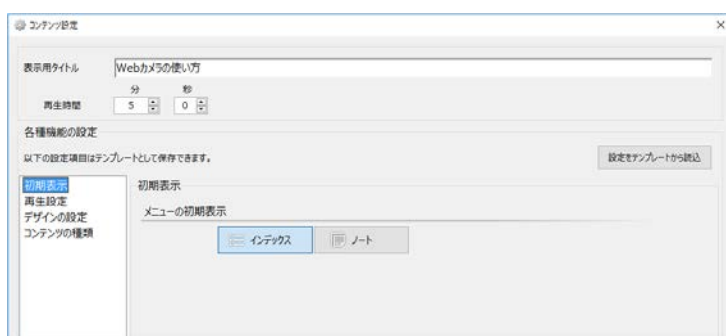
通常作成モードの「コンテンツの設定」より、コンテンツの細かな動作やデザインなどを設定できます。また、設定内容をテンプレートとして保存し、設定情報を再利用できます。契約プランにより利用できない機能があります。プラン毎の違いは以下の表をご確認下さい。

プラン	バリュー	レギュラー	エキスパート	体験版
メニュー・ノートの初期表示設定	○	○	○	○
コンテンツ再生の設定	○	○	○	○
デザイン設定： スキンの変更	×	○	○	○
デザイン設定： 簡易カスタマイズ	×	○	○	○
デザイン設定： 高度カスタマイズ	×	×	○	○
コンテンツの種類	○	○	○	○
テンプレートの作成・ 編集・適応	○	○	○	○

B1-1. メニュー・ノートの初期表示の設定

インデックスとノートのどちらをコンテンツの初期表示で表示させるかを選択できます。例えば、ノートを選択した場合、インデックスではなく、ノートが初期表示されます。

- インデックス：INDEX（メニュー）が初期表示されます。
- ノート：NOTE（ノート）が初期表示されます。



B1-2. コンテンツ再生の設定

コンテンツ再生時の細かな動作設定が可能です。設定は、コンテンツ設定 > 再生設定から行います。



スキップ再生の許可・不許可（メニュー移動の制限）

スキップ再生を不許可にすると、コンテンツ再生時に閲覧が完了していないメニューへの移動が行えなくなります。

- 許可：好きなメニューを自由に閲覧できる
- 不許可：メニューの上から順にしか閲覧できない

メニューごとに一時停止（ながら見の防止）

一時停止を ON にすると、コンテンツの再生中に各メニューの終了時に再生が一時停止します。再度、コンテンツの再生をスタートするには、再生ボタンのクリックが必要になり、ながら見の防止が行えます。

- ON：コンテンツ再生中に各メニューの最後に再生が一時停止します。
- OFF：一時停止せずにコンテンツが再生されます。

メニューごとに URL を出力

URL 出力を ON にすると、各メニュー（INDEX）に 1 つの URL が設定されます。これにより特定のメニューからコンテンツ再生が行えます。作成される URL は、以下の例のように URL の最後に「&index=1」とメニューの指定が入ります。

URL の例)




`https://*****/m/tablet.html#pc=true&index=1`



- ON：URL 出力が行われます。
- OFF：URL 出力が行われません。

B1-3. デザインの設定：スキンの変更

【デザインの設定】では、STORM Maker のスキンのデザインに近い見た目のデザインを5つの中から設定できます。

1. デザイン設定を選択
 2. プリインストールデザインから選ぶを選択
 3. デザインの選択で利用したいスキンをプルダウンメニューから選択
- ✓ デザイン変更の結果は、コンテンツ編集画面の【プレビュー】から確認して下さい。
 - ✓ レギュラー以上からデザインの選択が行えます。

標準デザイン	
Skin01	
Skin02	

<p>Skin03</p>	
<p>Skin04</p>	

B1-4. デザインの設定：簡易カスタマイズ

STROM V のデザインカスタマイズは、「簡易カスタマイズ」「高度カスタマイズ」の2種類があります。高度カスタマイズについては、「[B1-5. デザインの設定：高度カスタマイズ](#)」を参照して下さい。

1. デザインの設定 のプルダウンメニューから【自分でカスタマイズする】を選択
2. 左メニューに表示される【簡易カスタマイズ】を選択
3. 設定変更後、【適応する】をクリックします。

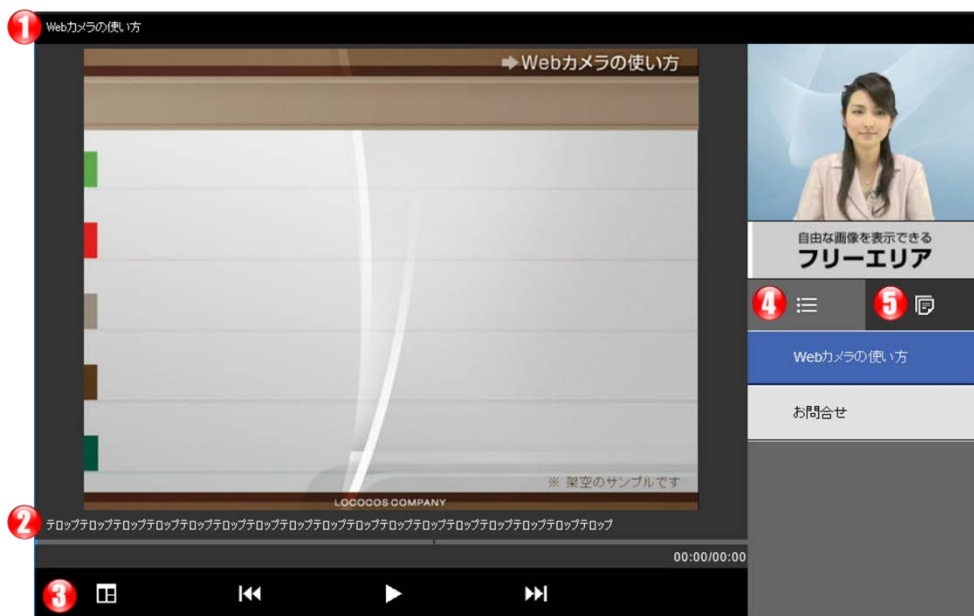
サイズ・位置

動画とメニューの表示位置（左右）と幅（px サイズ）を変更出来ます。

- ✓ 設定した内容を元に戻したい場合は、【初期状態に戻す】をクリックします。

背景色・文字の設定

タイトル、テロップなどの背景色や文字色、文字サイズを変更できます。



①	タイトル	文字サイズ、文字色、背景色が変更できます
②	テロップ	文字サイズ、文字色が変更できます
③	ナビゲーションバー	背景色が変更できます
④	インデックス	文字サイズ、背景色が変更できます
⑤	ノート	文字サイズ、文字色が変更できます

- ✓ 簡易カスタマイズは、レギュラー・エキスパートのご契約でご利用可能です。
- ✓ 設定した内容を元に戻したい場合は、【初期状態に戻す】をクリックします。
- ✓ 色の指定は、カラーパレットから行います。
- ✓ デザイン変更の結果は、コンテンツ編集画面の【プレビュー】から確認して下さい。

B1-5. デザインの設定：高度カスタマイズ

高度カスタマイズでは、CSS ファイルやアイコン画像を利用してオリジナルのデザイン設定が行えます。

CSS ファイルを利用した高度カスタマイズは、以下の参考資料のをご参照下さい。

<https://doclib.logosware.com/#/content/828>

アイコン画像の高度カスタマイズは、（CRG で資料を作成する）の資料をご参照下さい。

- ✓ 高度カスタマイズは、エキスパートのご契約でご利用可能です。

B1-6. コンテンツの種類の変更

“スライド+動画”、“動画のみ”、“スライドのみ”などの多様なコンテンツ作成できるように複数のコンテンツ種類を準備しています。コンテンツの種類は、新規コンテンツ作成または、【コンテンツの種類】から設定できます。

1. 対象コンテンツの編集画面を開きます。
2. 【コンテンツの設定】をクリックします。
3. コンテンツの種類のパルダウンメニューから利用する種類を選択し、【適応する】をクリックします。

スライド+動画 スライド+動画+音声	0：スライド(大)+動画(小) 1：動画(大)+スライド(小) 2：スライドのみ 3：動画のみ
スライド+音声	0：スライド+メニュー 1：スライドのみ
動画のみ	0：動画+メニュー

	1：動画のみ
スライドモード	0：スライドのみ
スライドモード+メニュー	0：スライド+メニュー 1：スライドのみ

B1-7. コンテンツ設定のテンプレート（保存・適応）

コンテンツ設定で設定変更した内容をテンプレートとして保存し、別コンテンツに再利用することが可能です。テンプレートには、初期表示、再生設定、デザインの設定、コンテンツの種類 の 4 項目が保存されます。

テンプレートの保存

1. コンテンツ設定 の【設定をテンプレートに保存】をクリックします。
2. テンプレート名とメモを入力し、【保存】をクリックします。

テンプレートが保存されると【設定をテンプレートから読込】から保存したテンプレートの選択できます。

- ✓ 保存される内容はグレードによる違いはありません。

テンプレートの編集

テンプレート名やメモの再編集が行えます。

1. コンテンツ設定内の【テンプレートを編集する】をクリックします。
2. 【編集】をクリックします。



3. テンプレート名とメモを修正し、【保存】をクリックします。

テンプレートの削除

作成したテンプレートを削除する事ができます。

1. コンテンツ設定内の【テンプレートを編集する】をクリックします
2. 【削除】をクリックします

コンテンツにテンプレートを適応

作成済みのテンプレートをコンテンツに適応します。

1. コンテンツ設定内の【設定をテンプレートから読込】をクリックします
2. リストから適応したテンプレートを選択します

B2. コンテンツ書き出しの初期値設定

コンテンツを書き出すときの初期値を設定することができます。

設定は、設定 > 書き出し初期値設定 でも行えます。コンテンツの書き出しの詳細は、「[第5章 コンテンツを公開する](#)」を参照して下さい。

書き出し形式	Web 公開用、LMS 用教材などからデフォルトの書き出し形式の設定ができます。
画質	スマートフォン用、タブレット用コンテンツの動画品質を設定します。画質の設定は3種類あります。 200kbps（低品質）、500kbps（標準）、700kbps（高品質） ✓ 設定値が高いほど動画品質が高くなりますが、コンテンツサイズが大きくなります。
ファイル分割設定	コンテンツの音声や動画をメニュー毎に分割します。一度に読み込むファイルサイズが小さくなるため低速回線でも閲覧しやすくなる反面、読み込み回数が増えます。
閲覧設定	閲覧者がコンテンツを開くときに、パスワードを要求するよう設定できます。チェックボックスをチェックし、設定したいパスワードを入力します（半角英数字および_@.+-、32文字以内）。パスワードを確認したい場合、【表示】ボタンをクリックします。
スコア設定	スコア機能の利用の有無を設定できます。 スコア機能の詳細な設定方法は、スコア操作マニュアル (http://doclib.logosware.com/content.html#!/433/) を参照して下さい。

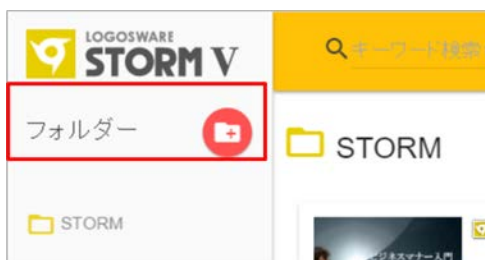
B3. コンテンツ一覧の操作

コンテンツ一覧には、作成したコンテンツのリストが表示されます。ここでは、コンテンツ一覧で操作について説明します。

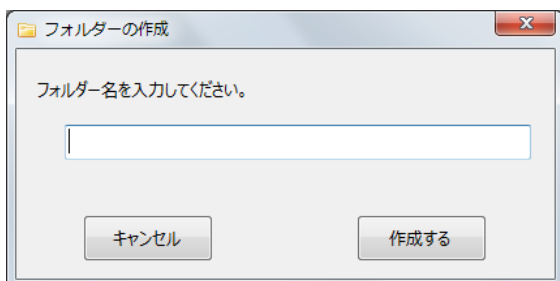
B3-1. フォルダーの新規追加

コンテンツを保存するフォルダーの作成ができます。

1. 【フォルダー】 ボタンをクリックします。



2. 【フォルダーを作成】 ボタンをクリックします。
3. フォルダー名を入力し、【作成する】 ボタンをクリックします。

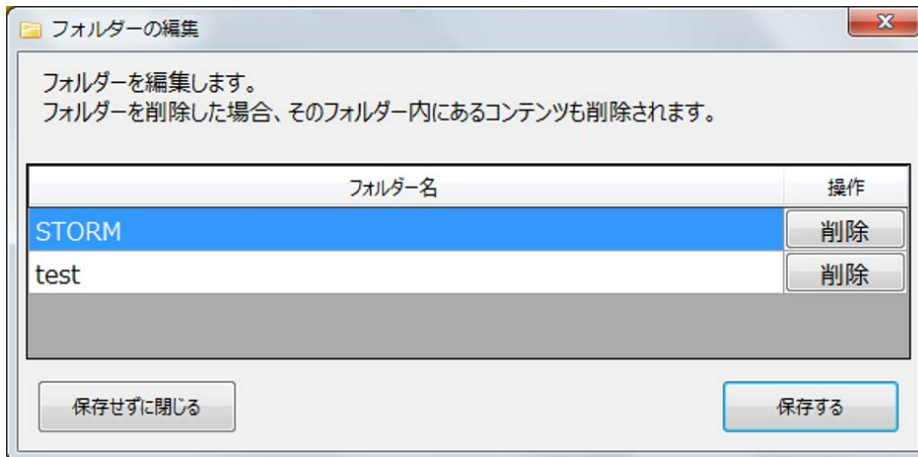


B3-2. フォルダーの削除

作成したフォルダーを削除できます。

1. 【フォルダー】 ボタンをクリックします。

2. 【フォルダーを編集】 ボタンをクリックします。
3. 削除するフォルダー名の【削除】 ボタンをクリックし、【保存する】 ボタンをクリックします。



- ✓ コンテンツが保存されているフォルダーを削除すると、保存されたコンテンツも削除されます。
- ✓ フォルダーの【削除】 ボタンをクリック後に【保存せずに閉じる】 ボタンをクリックした場合、フォルダーは削除されません。

B3-4. コンテンツの管理

コンテンツ一覧画面では、以下のコンテンツ管理ができます。



① 検索	選択されているフォルダー内に保存されているコンテンツを検索します。検索対象は、ファイル名（コンテンツ管理名）、コンテンツタイトル、メモとなります。
② 新規作成	コンテンツを新規に作成します。
③ 設定	ファイル名の変更（④と同様）、コンテンツのフォルダー移動、削除（⑤と同様）が行えます。
④ ファイル名の変更	STORM V 内でのコンテンツ管理名を変更します。
⑤ 削除	コンテンツを削除します。
⑥ 編集	コンテンツの編集画面を開きます。 ✓ コンテンツ編集画面の操作方法は、「 4-3. 通常作成モードでコンテンツを作成 」を参照して下さい。
⑦ プレビュー	コンテンツをプレビューします。 ✓ プレビューの詳細は、「 2-4. コンテンツをプレビューする 」を参照して下さい。
⑧ 書き出し	コンテンツを書き出します。 ✓ 書き出しの詳細は、「 5-2-1. コンテンツを書き出す 」を参照して下さい。

B4. 音声合成ツールの使い方

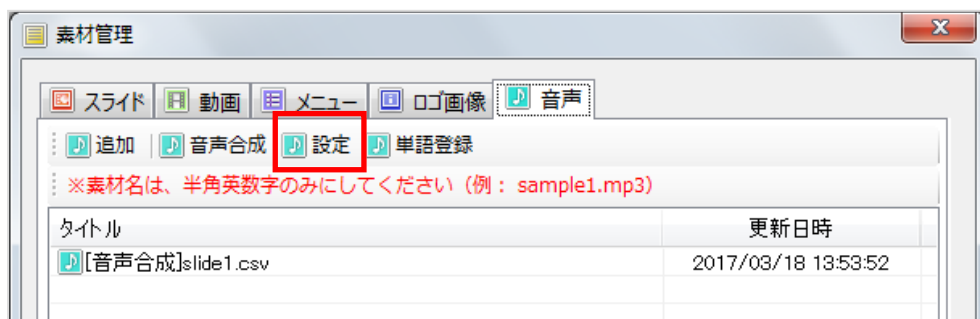
B4-1. 音声合成ツールとは？

ナレーション原稿を音声合成ソフトで読み上げ、音声ファイルを作成する機能です。音声の種類（男性／女性）や、読み上げる速度などを設定できます。ここでは、通常作成モードで音声合成ツールを使用する方法を紹介します。

- ✓ 音声合成機能を制限なく利用するには、音声合成オプション（有償）が必要です。ご契約でない場合、頭に「サンプルです」と入り CSV1 行あたり約 60 字合成します。
- ✓ 作成された音声合成ファイルは、他の利用目的で使用しないでください。
- ✓ 高度な設定をお求めの場合は、株式会社エーアイの「声の職人」をご利用ください。
参照 URL : <http://www.ai-j.jp/products/voice/>

B4-2. 音声合成ツールの使い方

1. 作成する音声の設定を行います。素材管理画面の【音声】タブから【設定】をクリックし、設定します。

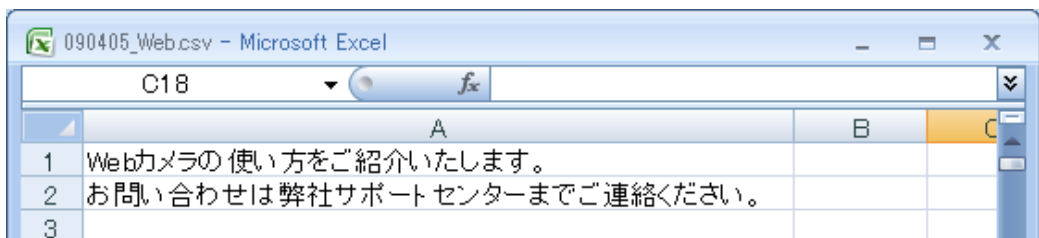
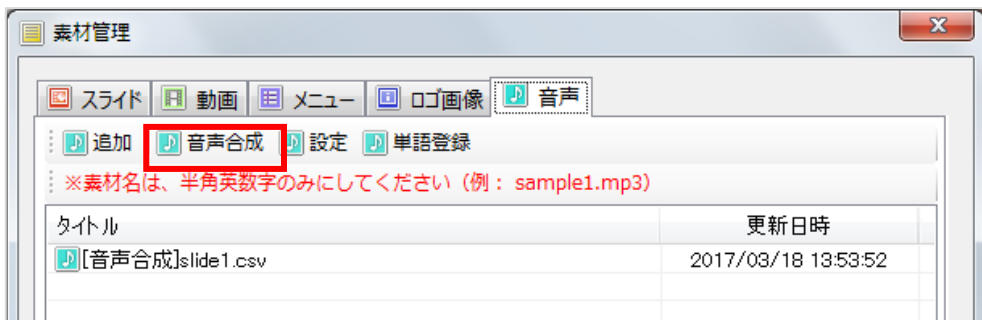


- ✓ 簡単作成モードの音声合成の速さ、音量、声質（ピッチ）は固定値です。本画面で設定しても、簡単作成モードからの音声合成には反映されません。



音声データ	音声の性別を設定します。
速さ	速度を設定します。
音量	声の大きさを設定します。
声質 (ピッチ)	声の高さを調整します。数値が高いほど声が高くなります。数値が低いほど声が低くなります。
末尾の空白	スライドが切り替わる時の空白時間を設定します。0～10 秒まで設定可能です。
初期化	速さ、音量、声質全てを「1.0」にします。
試聴	現在の設定を試聴できます。

2. 素材管理画面の【音声合成】タブの【音声合成】から CSV を登録します。



- ✓ 英単語や、難しい漢字、固有名詞などは正しく読みあげられない場合があります。その場合は、音声合成の単語登録を行うか原稿をカタカナまたは平仮名に変更してください。

例：「STORM」→「すとーむ」に変更する

音声合成の単語登録は、「[B6. 音声合成の単語登録](#)」を参照して下さい。

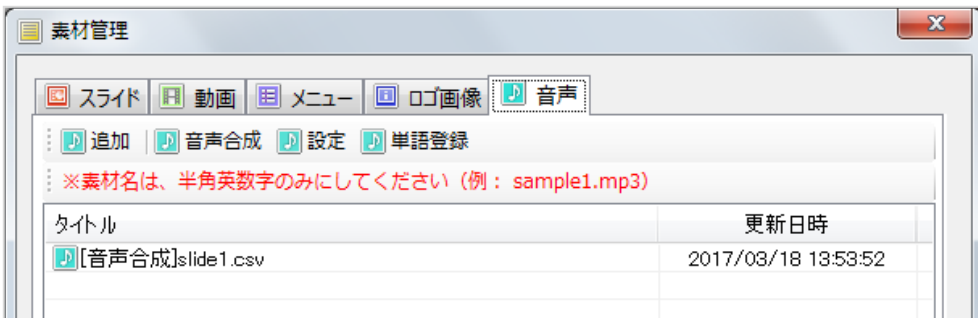
- ✓ [音声合成の上限：1セル内 1,000文字程度まで]です。ご使用のパソコンスペックによって、1セル上限文字数が200文字程度になる場合があります。
- ✓ [音声合成1ファイルの上限文字総数：40,000文字]です。
- ✓ 指定した箇所に無音時間を入れ、音声合成にメリハリをつけることができます。
 ■で約1秒、▲で約0.1秒の無音が入ります。
 無音記号は連続30秒まで指定できます。連続して30秒以上指定した場合、超過分は無視されます。「■■ (略) ■■。■■ (略)」のように、「。」を入れ、連続しないようにしてください。

3. CSVが取り込まれるので、必要に応じて微調整します。その後【音声合成開始】をクリックします。

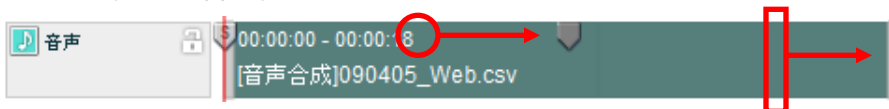
テキスト欄をダブルクリックすると文章を編集できます。

- ✓ 【試聴】リンクをクリックすると、現在の設定での読み上げを試聴できます。

4. 音声ファイルができあがります。



- ✓ テロップ、メニューに登録されている文章からも音声合成できます。各タブで音声合成をクリックすると、音声タブに音声ファイルができあがります。
- ✓ 複数セルに文章を指定すると、セルごとにキューポイントで区切られてユニットが作成されます。ユニットの末尾を伸ばし、キューポイントを後ろにずらすと、セルとセルの間に無音時間を入れられます。



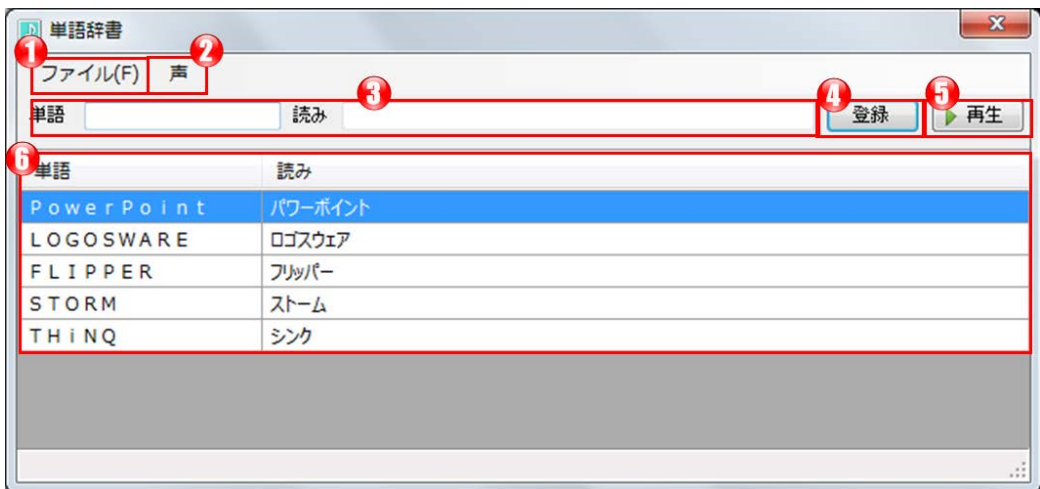
B5. 音声合成の単語登録

B5-1. 音声合成の単語登録とは？

音声合成のときに読み上げさせる単語登録が行えます。予め単語登録を行うことで、簡単作成モードや通常作成モードの音声合成の変換時にテキスト中の単語を読み間違えることがなくなります。

B5-2. 新規の単語登録のやり方

1. 単語登録は、【設定】タブより【音声合成の単語登録】をクリックします。
2. 単語登録の画面が表示されます。

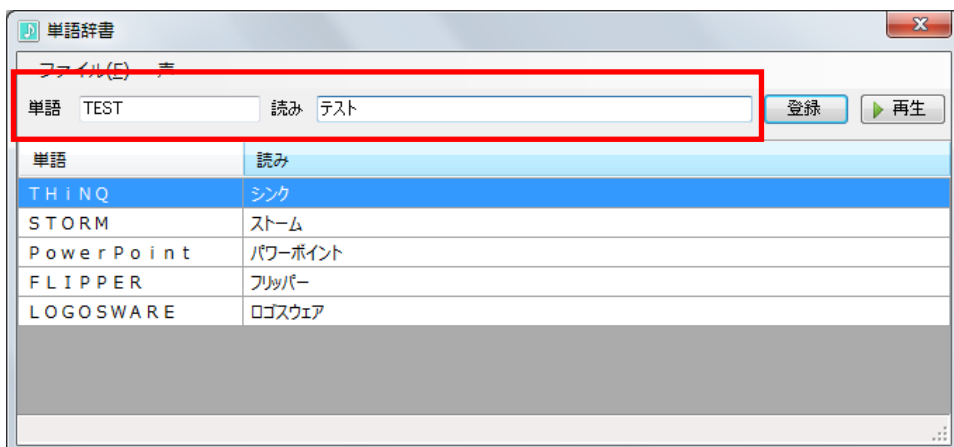


①	ファイル	<p>登録済みの単語の CSV エクスポート（出力）と、CSV インポートでの新規の単語登録を行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 利用可能な csv ファイルの文字コードは、sjis のみとなります。 ✓ csv ファイルでインポートを行う場合、A 列に単語、B
---	------	--

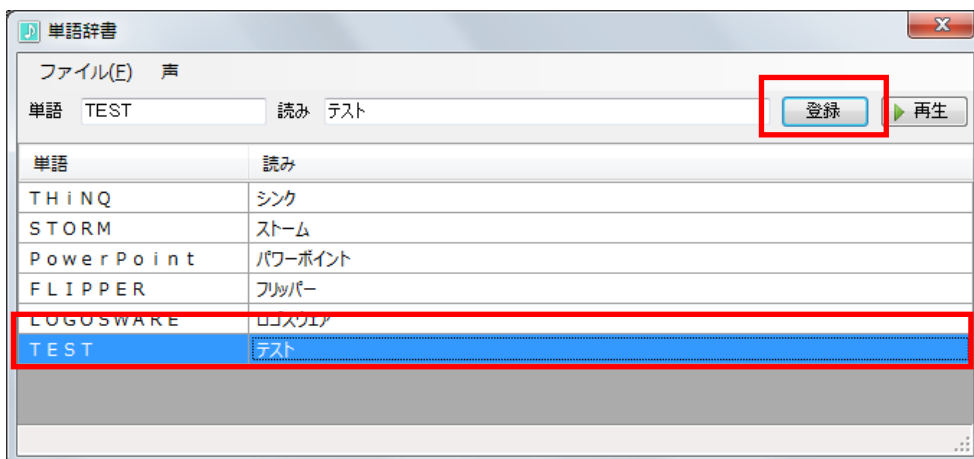
		列に読みを記載してください。それ以外の部分には、記載を行わないでください。
②	声	話者を男性・女性から選択が行えます。
③	単語・読み	登録済みの単語の確認、新規登録、更新を行えます。 単語： ● 設定可能な最大文字数は 30 文字です。 アルファベット、sjis（日本語の漢字、ひらがな、カタカナ）が利用可能です。 読み： ● 設定可能な最大文字数は 40 文字です。 読みは、全角カタカナ・ひらがなのどちらかで入力してください。
④	登録	単語・読みで入力されている内容を単語の辞書に登録します。 ✓ 既に登録されている単語を登録しようとした場合、既存の設定を更新します。 ✓ 登録可能な単語数は、2000 単語です。 ✓ アルファベット、sjis（日本語の漢字、ひらがな、カタカナ）の利用が可能です。
⑤	再生	読みに表示されているテキストを読み上げます。
⑥	一覧	登録済みの単語が表示されます。

- ✓ 「,.;()数字 空白文字 タブ 垂直タブ 改行」などの文字は、読みの単語として利用できません。入力があった場合は、削除か全角に置き換えられます。
- ✓ 単語・読みをクリックすることでソートが行えます。

3. 単語登録を行いたい単語を「単語」と「読み」に入力します。



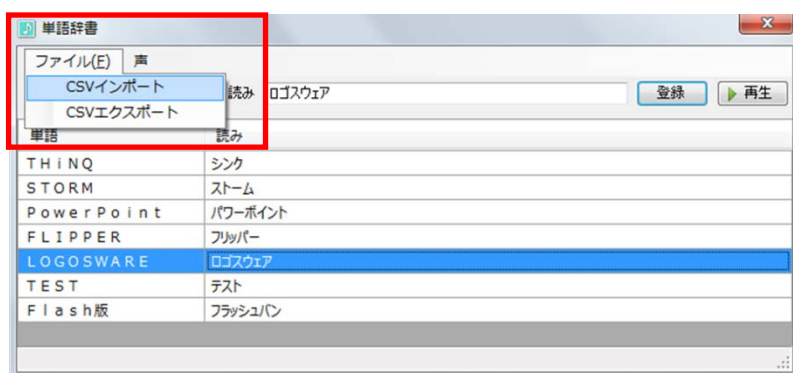
4. 【登録】 ボタンをクリックします。



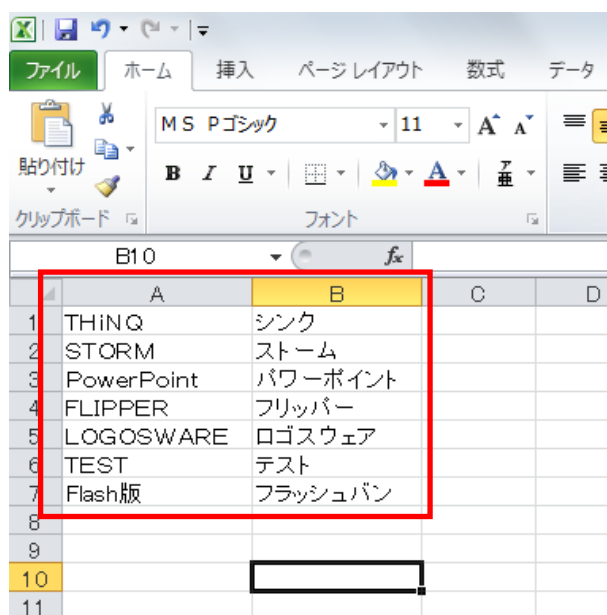
- ✓ 単語の読みは音声合成エンジンの文脈解析によって決められます。その為、「読み」として登録したテキスト通りに読み上げられない場合があります。また、同じ単語でも文脈によっては、登録した単語で読み上げられないケースがあります。
- ✓ 1文字や2文字などの短い単語の場合、設定した読みが正しく反映されない場合があります。
- ✓ 登録した単語のイントネーションやアクセント、ピッチの調整は行えません。

ワンポイント

単語登録は1単語ずつ行うだけではなく CSV ファイルで一括登録を行うこともできます。CSV ファイルで一括登録を行う場合、一度、CSV エクスポートで CSV ファイルを取得してから行くと、登録済みの単語全体も確認でき作業がスムーズに行えます。



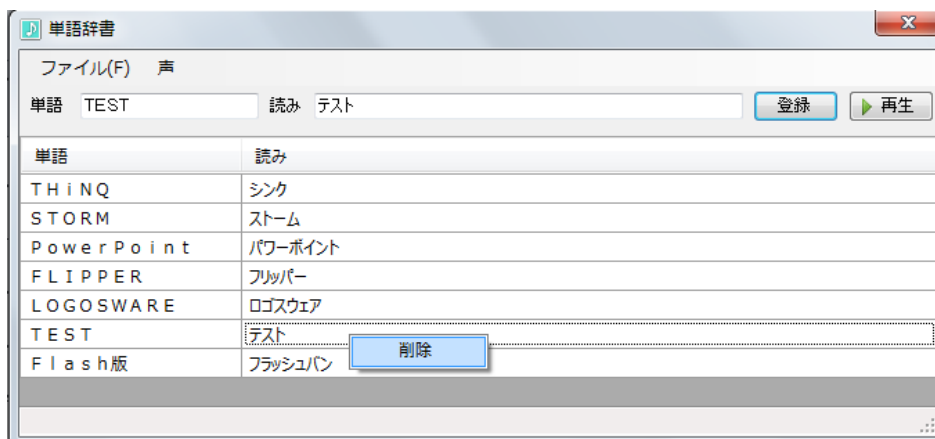
CSV ファイルの編集 (Excel での編集画面)



B5-3. 登録済みの単語の削除

登録済みの単語を削除することが可能です。

1. 削除したい単語を選択し、右クリックを行います。
2. 【削除】 ボタンをクリックします。



B6. ビュー画面でのキューポイント設定(イベントレコーディング方式)

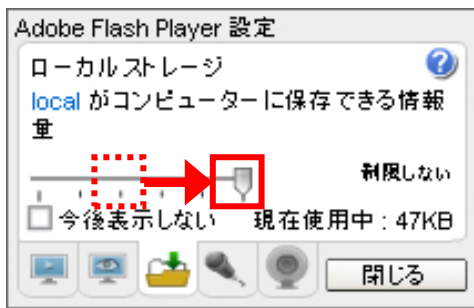
B6-1. ビュー画面でのキューポイント設定とは？

通常作成モードでは、コンテンツにキューポイントを設定する必要があります。キューポイントとは「このタイミングで、このアクションを行う」という指示項目のことです。キューポイントを設定するには、以下の方法があります。

- 「コンテンツ編集画面」で設定する
基本的な方法です。「[4-3-4. キューポイントを設定する](#)」を参照してください。
- 「ビュー画面」で設定する（イベントレコーディング方式）
コンテンツを再生しながらキューポイントを設定する方法です。コンテンツの進みに合わせてキューポイントを設定したいときに便利です。

ここでは、イベントレコーディング方式によるキューポイント設定を説明します。

- ✓ 操作中、以下のダイアログが表示される場合、ローカルストレージの保存容量を増やしてください。「ローカルストレージ」タブで、スライダーを右に動かし「保存できる情報量」を増やします。10M に設定してもダイアログが表示される場合は、【制限しない】に設定してください。



画面を閉じてしまった場合、コンテンツ編集画面を右クリック＞【設定】で設定画面を起動します。

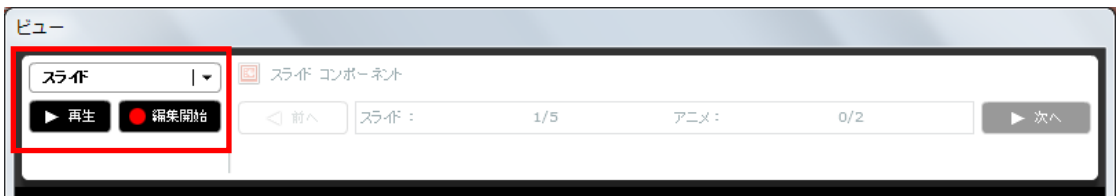
B6-2. スライドの操作方法（スライドタイプの場合）

1. 素材をコンテンツ編集画面に配置後、【ビューの更新】をクリックします。

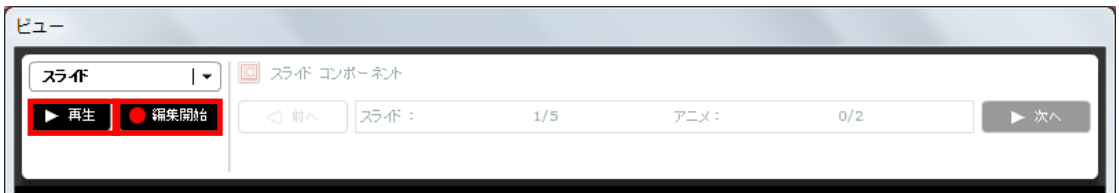


- ✓ 素材をコンテンツ編集画面に配置するまでの通常作成モードの操作については、「[4-3. 通常作成モードでコンテンツを作成](#)」を参照してください。

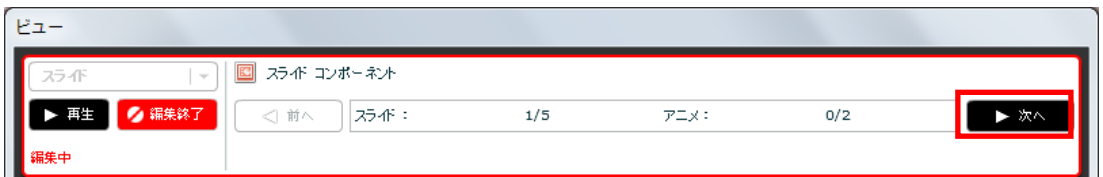
2. 配置した素材がビュー画面に反映されます。
キューポイントを設定するコンポーネントを選択します。



3. 【編集開始】をクリック後、【再生】をクリックします。



4. 編集開始をすると、編集画面がアクティブになりますので、再生をしながら好きなタイミングで【次へ】をクリックします。
クリックしたタイミングで、スライドの切り替えりや、アニメーションの切り替わりが表示されるコンテンツになります。



5. すべてのスライド切り替わり（またはアニメーション）分のキューポイントの設定が終了したら、【編集終了】をクリックします。

コンテンツ編集画面を表示すると、キューポイントが設定されています。必要に合わせて、キューポイントの位置を微調整します。



- ✓ 正しく設定できたか確認するには、コンテンツ編集画面の【ビューの更新】をクリックしてください。ビュー画面に最新の設定が読み込まれます。

付録 C (環境設定)

✓

C1. スライドの透かし字「Evaluation Use Only」を消したい

体験版の利用時は、PowerPoint の変換時に透かし字「Evaluation Use Only」が自動的に入ります。正式版のライセンス認証後にこの透かし字を消すことができます。

1. 正式版ライセンスキーを認証します。

ライセンス認証の詳細はセットアップガイドを参照して下さい。

<https://doclib.logosware.com/content.html#!/785>

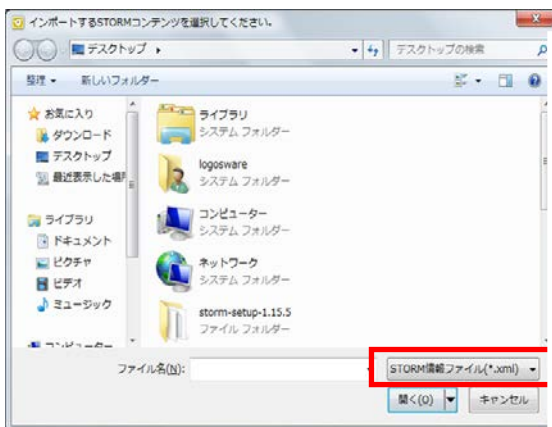
2. 対象コンテンツを「コンテンツ一覧」から選択し、【編集】をクリックします。
3. 【素材管理】をクリックします。
4. PowerPoint を差し替えます。対象のファイルを右クリックし【素材を差し替える】をクリックします。PowerPoint を選択します。
5. ビュー画面で「Evaluation Use Only」の透かし文字が消えていることを確認します。

C2. コンテンツをインポートする

一度書き出したコンテンツデータを STORM V に読み込むことができます。

- ✓ コンテンツを複製したい場合は、事前にコンテンツを書き出しておいてください。
- ✓ STORM v 2.1.0 以降から STORM Maker (1.14.0 以降) で作成したコンテンツのインポートが行えます。
- ✓ STORM Maker でのコンテンツ作成時にカスタマイズスキンを利用していた場合、標準のデザインが適応されます。

1. STORM V を起動し、【 ファイル 】 > 【 コンテンツのインポート 】 を選択します。
2. 読み込む対象のコンテンツを選択し、【 OK 】 をクリックします。
 - ✓ コンテンツのインポートは、zip 圧縮されたコンテンツと、フォルダー状態のコンテンツ（フォルダー内の contents_config.xml の選択）で行えます。



- contents_config.xml を選択する場合、プルダウンメニューで contents_config.xml が選択できるようになります。
- contents_config.xml は、コンテンツフォルダの第 1 階層に保存されています。

3. ファイル名の入力画面が表示されますので、ファイル名を変更する場合は編集し、【 OK 】 をクリックします。

C3. STORM V の再セットアップ

基本的なセットアップについては、セットアップガイドを参照してください。

<https://doclib.logosware.com/content.html#!/785>

C3-1. STORM V をアンインストールする

1. Windows のコントロールパネルより STORM V をアンインストールします。
 - ➡ [スタート] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能]
 - ✓ アンインストール時に STORM V のライセンス解除は不要です。

C4. 自 PC 内のコンテンツを閲覧する方法 (ローカル環境で再生する)

2017 年 8 月 25 日現在、HTML5 コンテンツはローカル閲覧できません。

以下のいずれかをお試し下さい。

- STORM V のプレビュー機能
- Web サーバーにアップロードする

付録 D (仕様)

D1. LMS 利用時の注意点

ここでは、LMS で STORM コンテンツを利用する際に確認していただきたいことを紹介します。

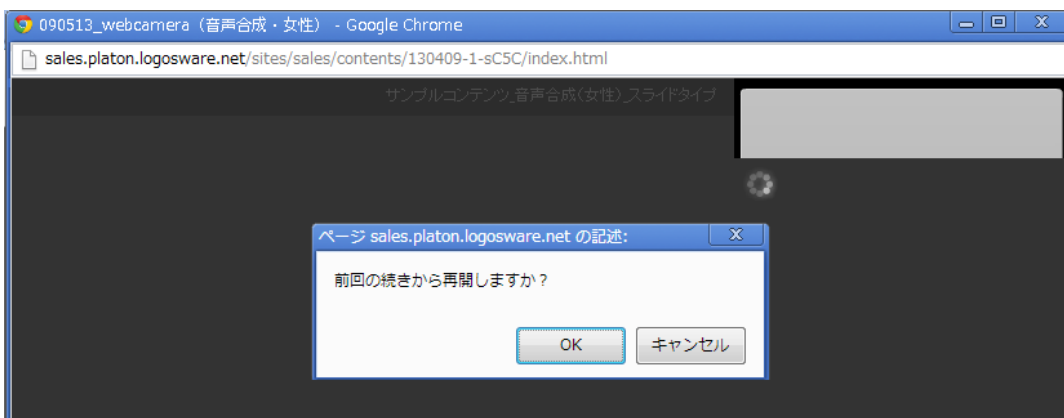
- STORM コンテンツの SCORM 対応については、以下を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/71/>
- STORM コンテンツは進捗をメニュー単位で管理します。
閲覧済みのメニューは、チェック印が表示されます。すべてのメニューがチェックされると完了となります。ただし最後の項目にはつきません（現在の表示箇所を示す三角印を優先して表示するため）。他の項目を選択するとチェックがついていることを確認できます。



- メニューがないと開いただけで完了になります。
最後まで見たときに完了になるコンテンツを作成したい場合は、メニュー項目を設定してください。（以下はメニューがない状態）



- 途中再開は、「スキップ再生：不許可」であれば可能です。
コンテンツ編集画面の高度な設定から「スキップ再生：不許可」にすると、閲覧を途中でやめた場合に再開時続きから再開します。
ただし LMS によっては、はじめから再開になることがあります。（STORM は進捗情報を LMS の「cmi.suspend_data」という領域に保存するが、LMS によっては情報をクリアすることがあるため）



- iframe でコンテンツを囲むと、スマートフォンで表示が乱れる可能性があります。対応策については以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/297/>



- 途中をスキップすると完了になりません。
不正受講防止のため「メニューやシークバーで移動した場合、未受講とする」という仕様です。そのため「前の部分を見逃した、少し戻って見よう」とシークバーを動かした場合もそのメニューにチェックがつかず、未受講になります。
この動きを避けたい場合、以下のどちらかをご検討ください。
- スキップできないコンテンツにする
コンテンツ編集画面のコンテンツの設定から「スキップ再生：不許可」に設定できます。（STORMV の起動＞編集＞コンテンツの設定）
- スキップしても完了になるコンテンツにする
書き出し形式「進捗管理：全体」を使うと、スキップしても完了になるコンテンツを作成できます。以下を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/296/>
- ✓ スライドモードコンテンツは、何も設定しなくても「進捗管理：全体」扱いで書き出されます。

D2. PowerPoint のアニメーション効果の変換

スライド内のアニメーションの反映

再現されるアニメーション効果は「開始」と「終了」のみです。また、オブジェクトに追加できるアニメーションは、全てフェードイン または、フェードアウトに置き換わり変換されます。

「開始」効果=フェードイン 「終了」効果=フェードアウト

✓ それ以外のアニメーション効果の「強調」、「軌跡」などは、未対応です。

スライドの画面切り替えの反映

再現されるスライドの画面切り替え効果は、全て「フェードアウト、フェードイン」に置き換わります。

リンク設定の反映

スライドのテキストオブジェクトや図形、表、画像などに設定されたリンク設定をコンテンツに反映できます。

変換できるオブジェクト	テキストボックス（横書き・縦書き） 図形、表、画像 ✓ オブジェクトに上下反転・左右反転が設定されている場合、リンクのエリアがずれません。
変換ができないオブジェクト	動作設定ボタン、SmartArt、グラフ、数式

スライド内の埋め込み動画・音声の再生

STORM V2.1.0 以降より PowerPoint のスライドに埋め込まれた動画や音声もコンテンツに反映されます。

動画・音声の再生はスライド内で行われます。スライド内に埋め込まれた動画・音声ファイルが再生されているときには、コンテンツ自体の再生は一時的に停止されます。

■埋め込まれた動画が再生されていない状態



■埋め込まれた動画の再生中



埋め込まれた動画にマウスオーバーすると動画再生用の操作パネルが表示されます。

動画の再生は、閲覧者の任意再生となります。※アニメーション等と組み合わせての再生は行えません。

- ✓ 変換が可能な動画・音声の形式は、mp4/m4a/mp3 の3種類となります。それ以外のマルチメディアの場合、コンテンツへの反映は行われません。
- ✓ スマートフォンの閲覧では、ライド内に埋め込まれた動画・音声の再生は、別タブで再生されます。

お問い合わせ

お問い合わせの前に

「FAQ」を確認していただくことで、解決する場合がございます。
それでも解決しない場合はお手数ですがお問い合わせ窓口までご連絡ください。

【FAQ】 <http://learning.logosware.com/faq>

お問い合わせ窓口

製品に関してご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

製品名 : LOGOSWARE STORM V

URL : <https://suite.logosware.com/storm-maker/storm-v/>

E-mail : support@logosware.com

TEL : 03-5818-8011

受付時間 : 10:00～18:00 (土日、祝祭日は除く)

ロゴスウェア株式会社 <http://www.logosware.com>

【東京オフィス】〒110-0016 東京都台東区台東 4-13-21 TOWA SKY BLDG3F

更新履歴

STORM V 自体の更新履歴は、リリースノートをご覧ください。

<https://suite.logosware.com/wp-content/uploads/17-ST990602.pdf>

マニュアルの改版履歴は以下の通りです。

第 1 版	2.0.0 のリリース
第 2 版	2017 年 9 月 27 日 製品バージョン：2.1.0 以降 <ul style="list-style-type: none">● STORM Maker のコンテンツインポート● デザインの設定（簡易カスタマイズ、高度カスタマイズ）● PowerPoint 内に設定された動画の再生機能● 推奨動作環境を更新